

平成23年度

キャリア教育に関する調査

文部科学省
初等中等教育局
児童生徒課

調査の概要

■ 調査の目的

本調査は、小学校及び、中学校、高等学校(全日制・普通科)におけるキャリア教育について、学校内部の推進体制や学校外部の教育資源の活用の実態などを把握し、今後のキャリア教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施した。

■ 調査の実施時期

平成23年2月～平成23年4月（平成22年度末時点の内容についてご回答頂いた。）

■ 調査票回収締切日

平成23年4月28日(木)

■ 調査の種類・方法等

本調査は、小学校及び、中学校、高等学校(全日制・普通科)に対し、全て同じ質問項目で行った。調査の方法は、次のような抽出方法により、全都道府県において実施した。

● 調査対象

- ・小学校 : 市区町村立小学校
- ・中学校 : 都道府県・市区町村立中学校(中等教育学校前期課程も含む)
- ・高等学校 : 都道府県・市区町村立高等学校(全日制普通科に限る／中等教育学校後期課程も含む)

※特別支援学校は調査対象には含まない。

※※指定する調査対象校抽出方法で分校が指定された場合には、その分校の本校を調査対象校とする。

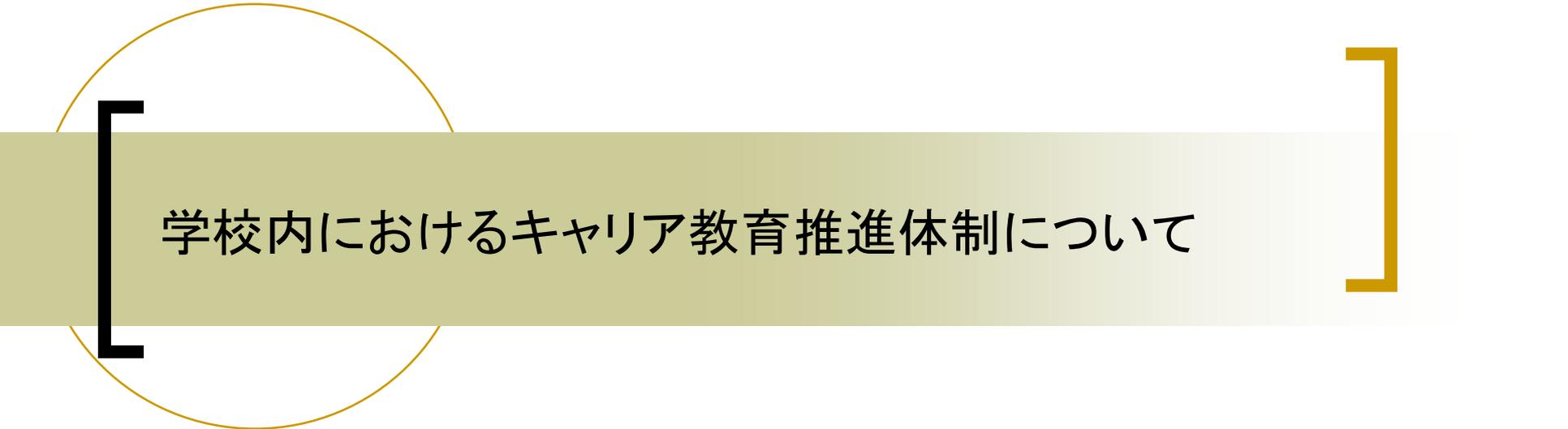
● 調査委対象校の数について

各都道府県ごと、学校種(小学校・中学校・高等学校(全日制普通科))毎の公立学校の学校数に、それぞれ5%をかけた数(小数点以下切り上げ)を調査対象校数とした。(小学校:1,092校、中学校:518校、高等学校:150校)

■ 調査票回収状況

指定した調査対象抽出方法で抽出された全ての学校(下記を除く)から、調査票を回収した。

※東日本大震災の影響で、岩手県の小学校で1校、中学校で1校、宮城県の中学校で3校、高等学校で2校、福島県の小学校で3校、²中学校で2校から調査票を回収することが出来なかった。

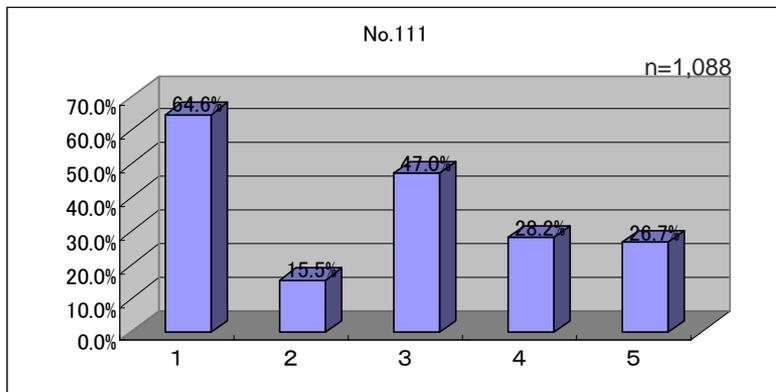


学校内におけるキャリア教育推進体制について

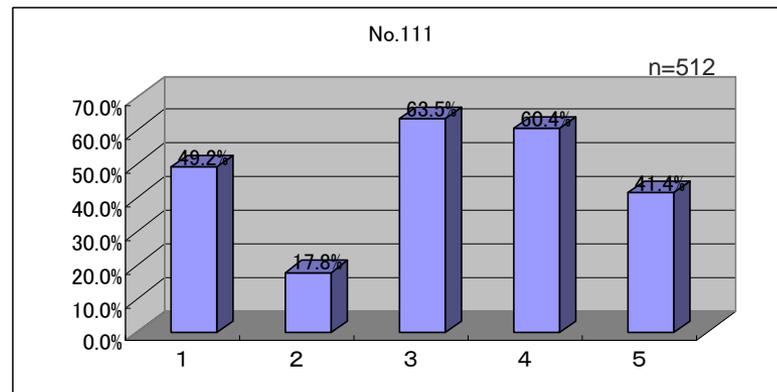
No.111

キャリア教育の推進のために、平成22年度、下記の選択肢にあげるものの中で校内で実施した(実施予定を含む)ものをすべて選んで下さい。

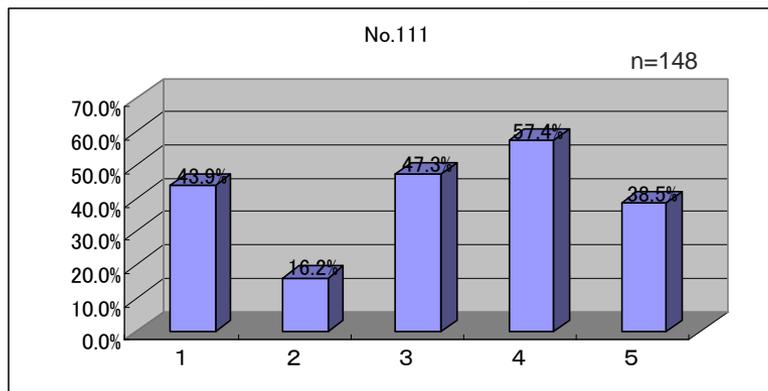
1. 文部科学省や国立教育政策研究所、都道府県(市区町村)教育委員会等がまとめたキャリア教育についての資料またその概要の配付
2. キャリア教育についての教職員を対象とした校内研修会の実施
3. キャリア教育の全体計画の作成
4. キャリア教育の年間指導計画の作成
5. キャリア教育に関する校内組織の設置(平成21年度以前に設置し現存している場合も含む)



小学校



中学校

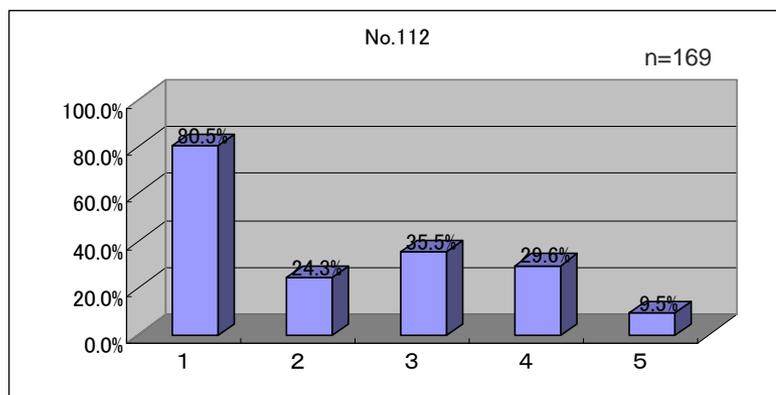


高等学校

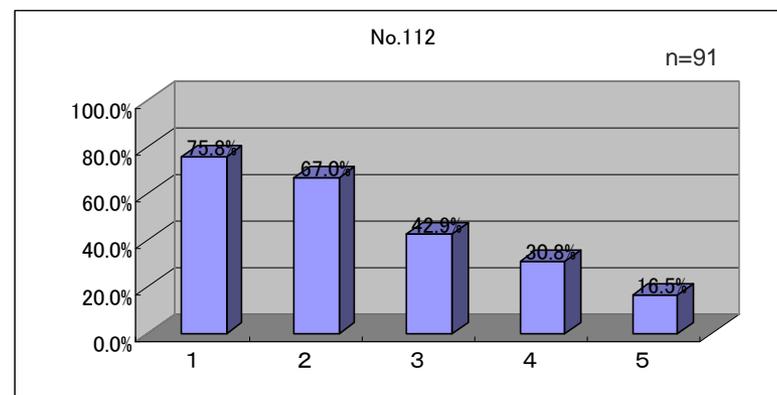
No.112

No.111において2を選んだ場合、その校内研修会の内容について当てはまるものをすべて選んで下さい。

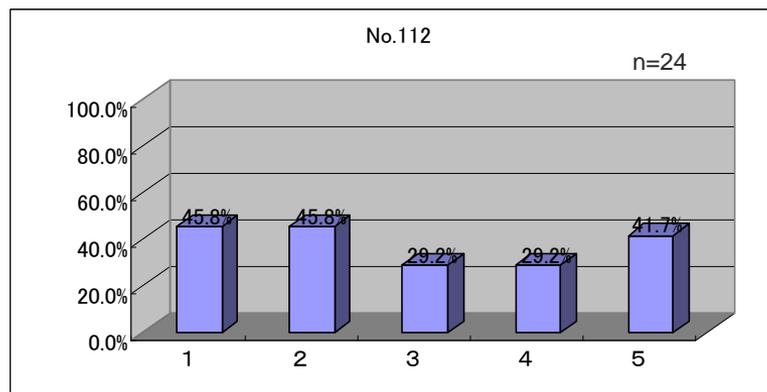
1. キャリア教育の基本概念について教職員の共通理解を図るための研修
2. 職場体験、インターンシップ等の校外における体験的な学習の在り方に関する研修
3. キャリア教育の推進・充実のための学校外部との連携や協力の在り方に関する研修
4. キャリア教育の視点からの授業の在り方に関する研修(研修会形式、授業研究、公開授業等)
5. キャリアカウンセリング等、キャリア教育の視点に立つて行う個人面談・個別指導の在り方に関する研修



小学校



中学校

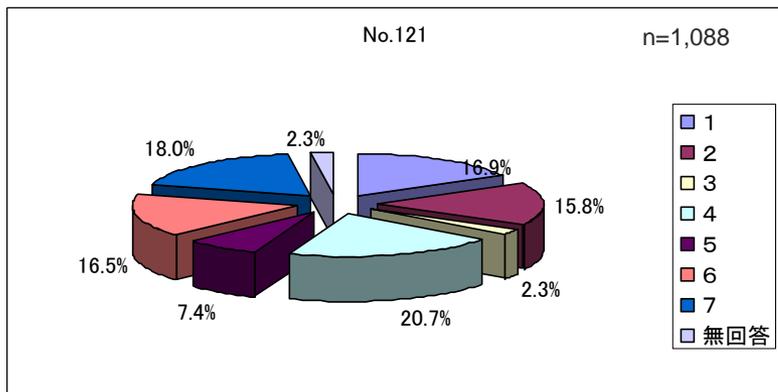


高等学校

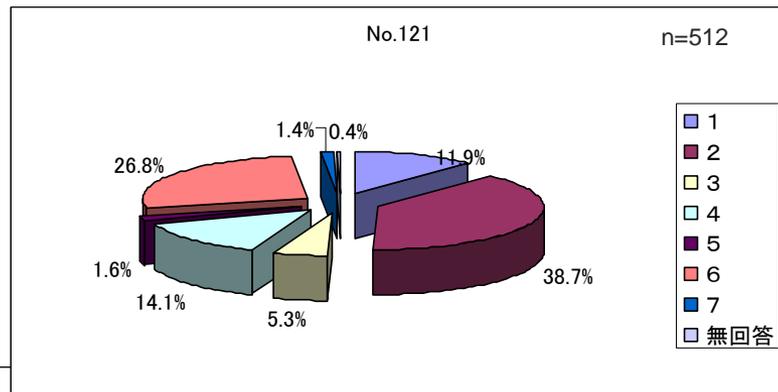
No.121

平成22年度におけるキャリア教育推進のための校内体制について、当てはまるものを1つ選んで下さい。

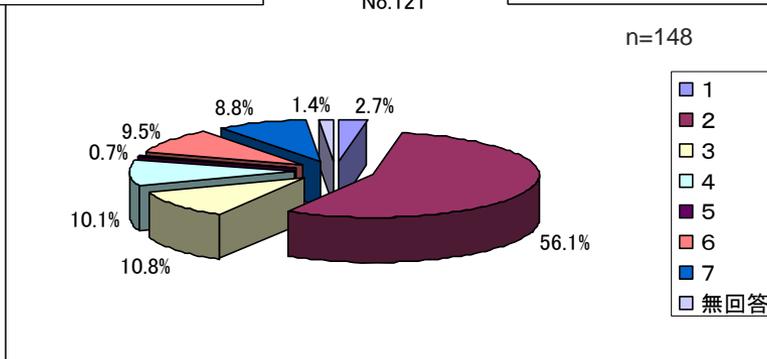
1. キャリア教育推進に特化して設置した「キャリア教育推進部」等を校務分掌上に位置づけている。
2. 選択肢No.1以外の進路指導部、生徒指導部等などの分掌がキャリア教育を担当している。
3. 分掌としての組織はないが、キャリア教育推進のための委員会等を組織している。(例: 副校長、教頭、学年主任、関係分掌主任等で構成される委員会等)
4. 分掌、委員会等の組織はないが、特定のポストに就いたものが主に担当している。
5. 分掌、委員会等の組織はないが、特定の個人が担当している。
6. 学年が主体となって企画立案等にあたっている。
7. その他



小学校



中学校

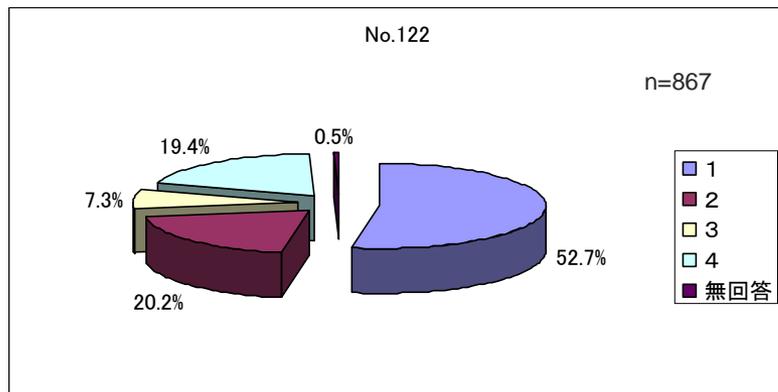


高等学校

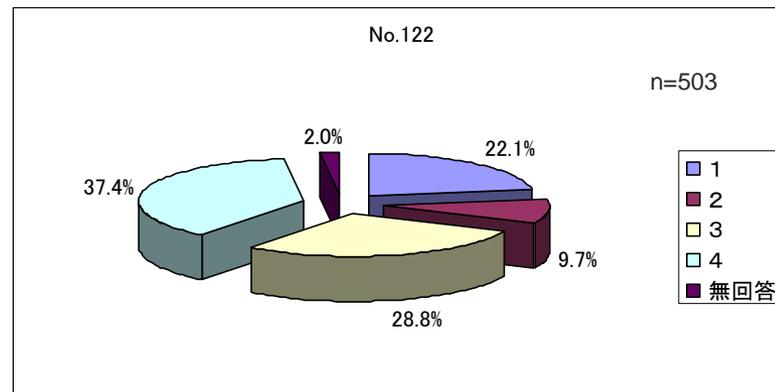
No.122

No.121において1～6を選んだ場合、その担当者(本務者)の人数について当てはまるものを1つ選んで下さい。

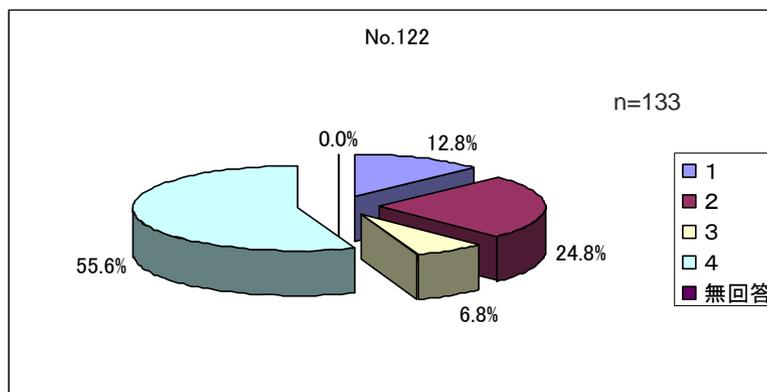
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人以上



小学校



中学校

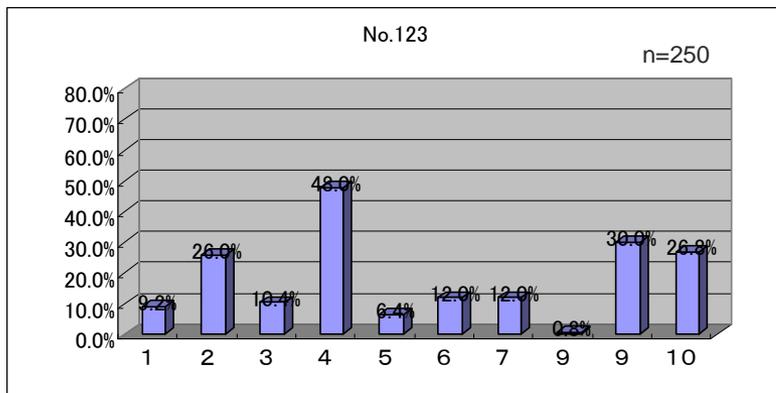


高等学校

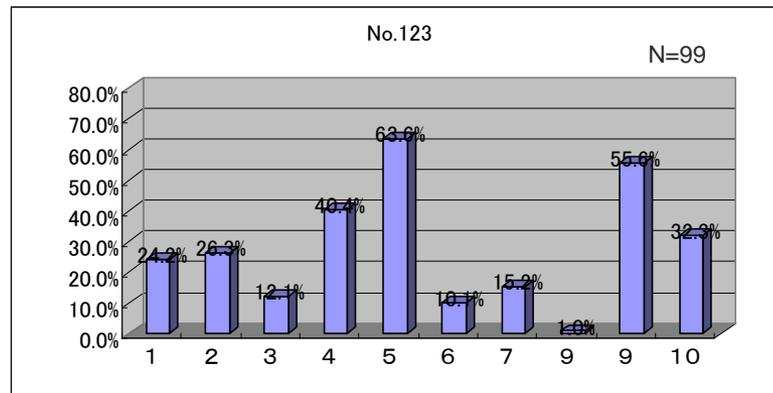
No.123

No.121において3もしくは4を選んだ場合、委員会等のメンバーや主として担当する者の職位について、次のうちから当てはまるものをすべて選んで下さい。

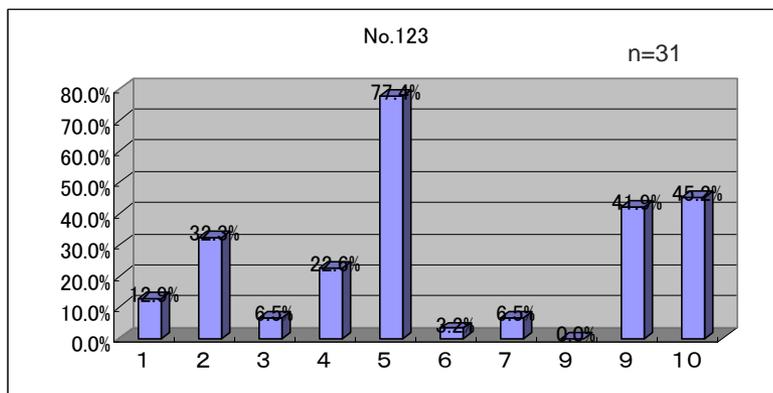
1. 校長
2. 副校長、教頭
3. 主幹教諭
4. 教務主任
5. 進路指導主事
6. 生徒指導主事
7. 研究主任
8. 教育相談担当者
9. 学年主任
10. その他教職員



小学校

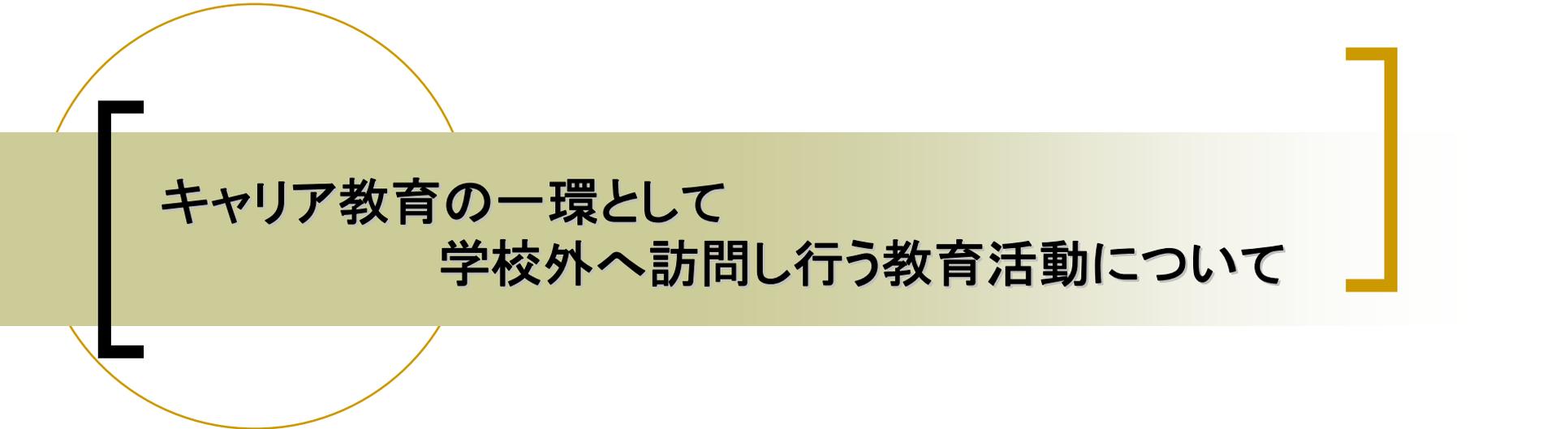


中学校



高等学校

10. その他教職員の具体的な主な回答
 <小学校> ・総合的な学習の時間担当者 ・特別活動担当者
 ・高学年の担任、副担任
 <中学校> ・総合的な学習の時間担当者 ・特別活動担当者
 ・生徒会担当 ・学級担任
 <高等学校> ・事務長 ・渉外部担当 ・各学年の副主任

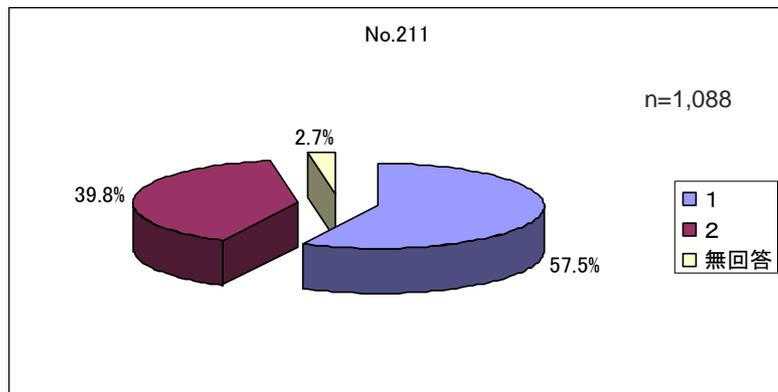


キャリア教育の一環として
学校外へ訪問し行う教育活動について

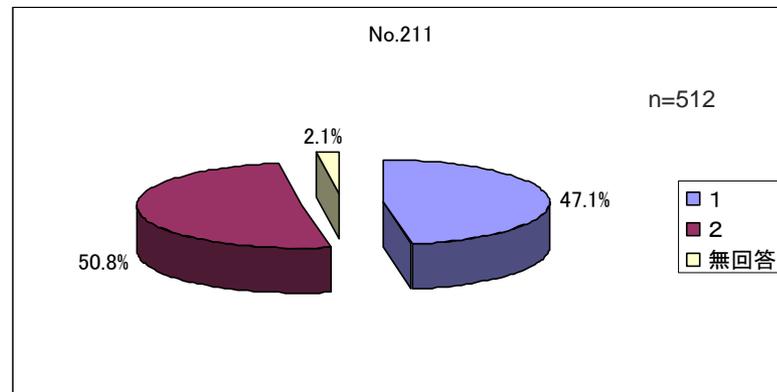
No.211

平成22年度中に職場訪問や職場見学を実施しましたか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

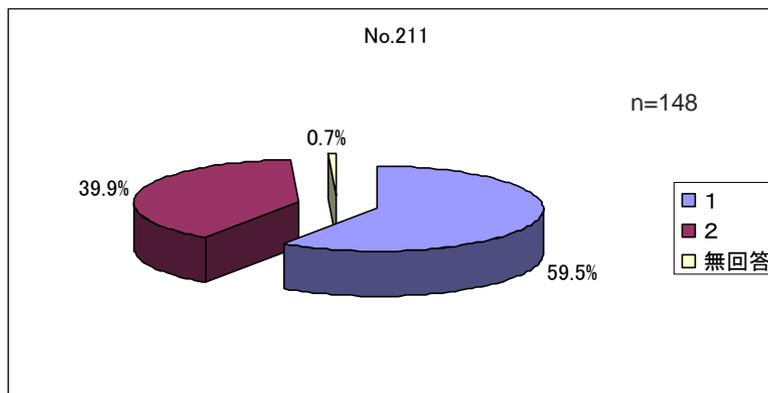
1. 実施した。
2. 実施していない。



小学校



中学校

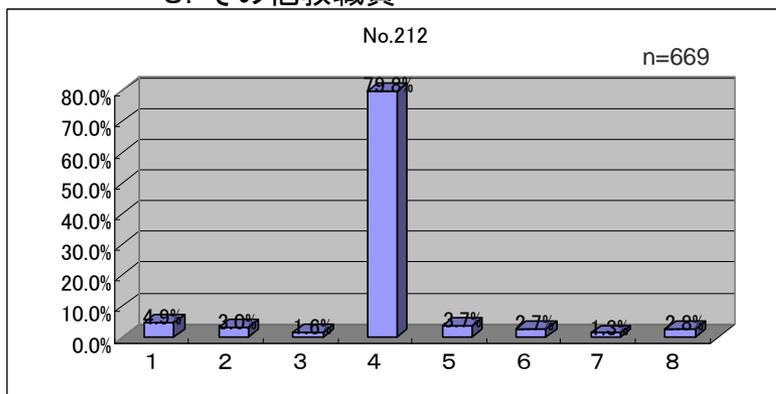


高等学校

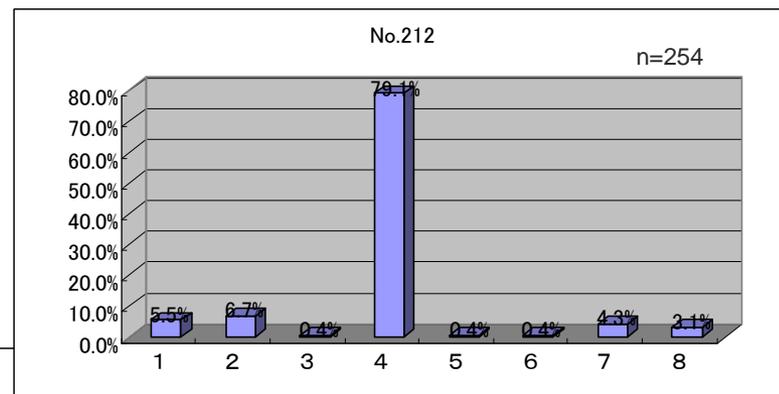
No.212

No.211において1を選んだ場合、平成22年度中に行った職場訪問や職場見学について、主に相手方の職場、企業等との交渉、連絡、調整を行うのは誰ですか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

1. 「キャリア教育推進部」等、キャリア教育推進に特化して校務分掌上に位置づけられた部署に配置されている担当者
2. 選択肢No.1以外の進路指導部、生徒指導部などの校務分掌に配置されている担当者
3. 分掌として組織されていないキャリア教育のための委員会等に配置されている担当者
4. 職場訪問や職場見学を行う学年の担当者
5. 特定のポストに就いた者(校長、副校長、教頭等)
6. 教職員の中の特定の個人
7. 児童・生徒
8. その他教職員

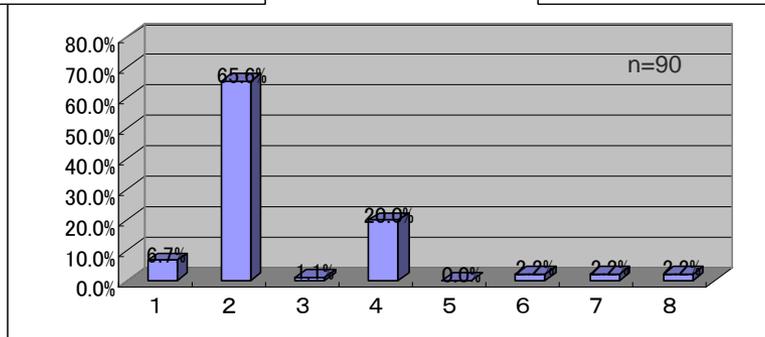


小学校



中学校

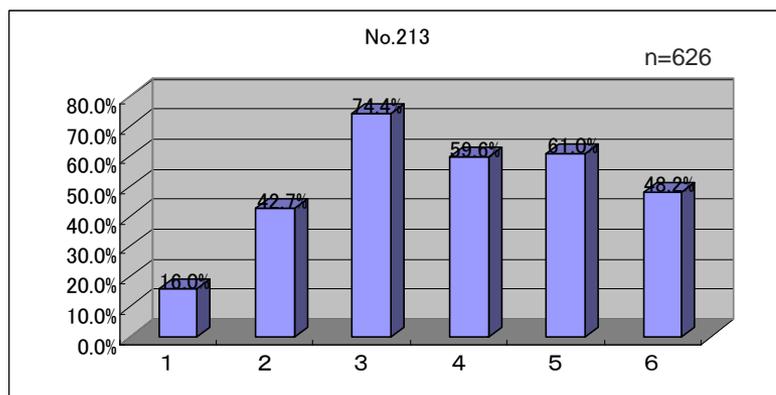
高等学校



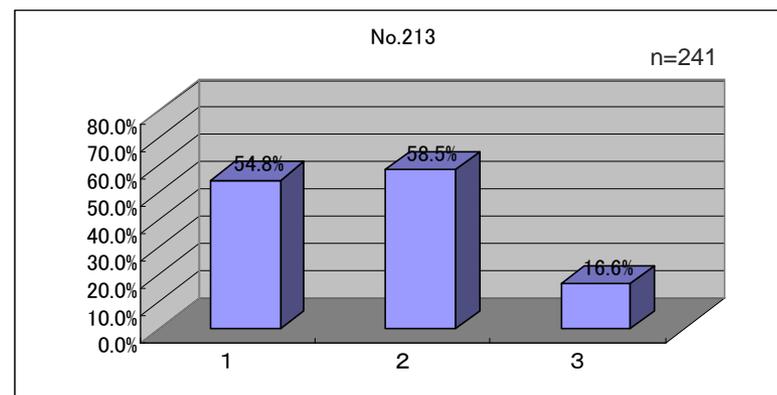
No.213

No.211において1を選んだ場合、平成22年度中に行った職場訪問や職場見学について、主に何年生の児童生徒を対象に実施しているか、当てはまるものをすべて選んで下さい。

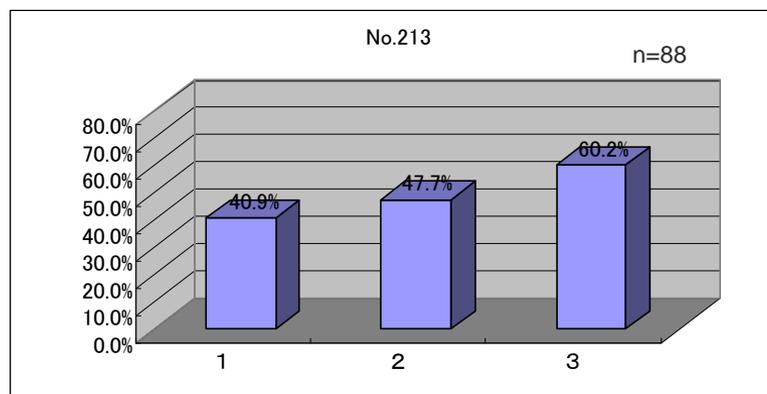
1. 1年生(中等教育学校後期課程4年生を含む)
2. 2年生(中等教育学校後期課程5年生を含む)
3. 3年生(中等教育学校後期課程6年生を含む)
4. 4年生
5. 5年生
6. 6年生



小学校



中学校



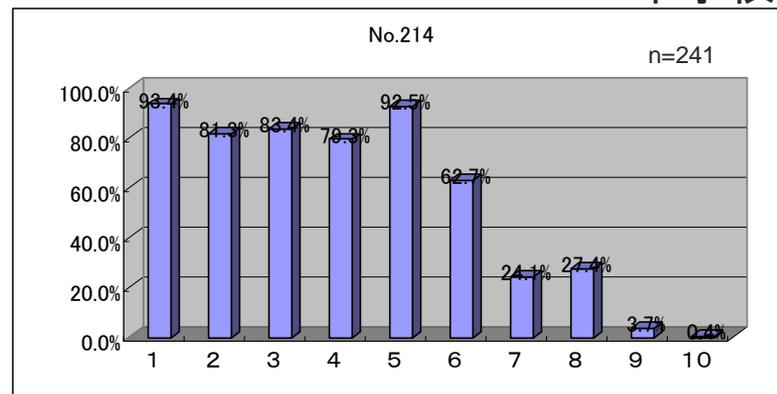
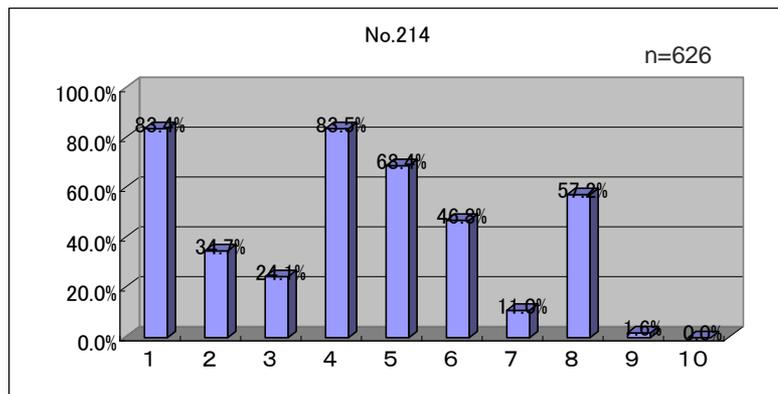
高等学校

No.214

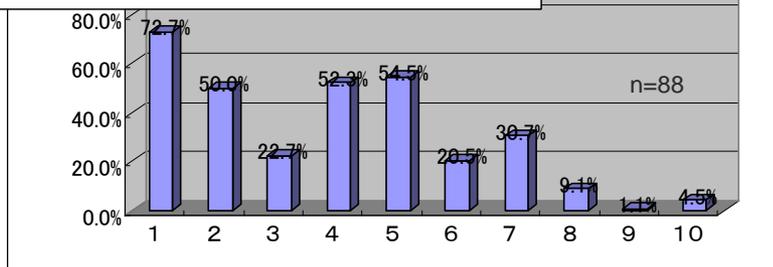
No.211において1を選んだ場合、平成22年度中に行った職場訪問や職場見学について、事前に行っている指導内容として当てはまるものをすべて選んで下さい。

1. マナー研修(礼儀作法や挨拶の方法の指導)
2. 緊急連絡先の確認等
3. 児童生徒が、訪問する事業所等に事前に連絡を入れる場合の電話のかけ方や話し方についての指導
4. 訪問先についての調べ学習
5. キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらいに関する学級や学年での全体指導
6. キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらい、学びたいことに関するグループでの話し合い活動
7. キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらい、学びたいことに関する個人面談・個別指導
8. キャリア教育の一環としての職場訪問や職場見学と教科の学習内容とを結びつけた指導
9. その他
10. 特に何もしていない

中学校



小学校



高等学校

9. その他の具体的な主な回答

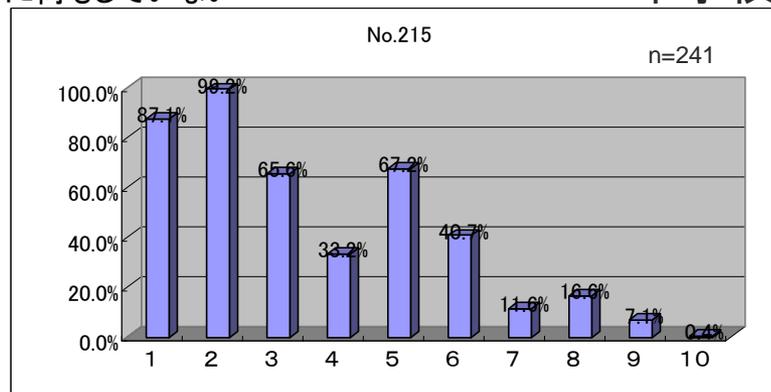
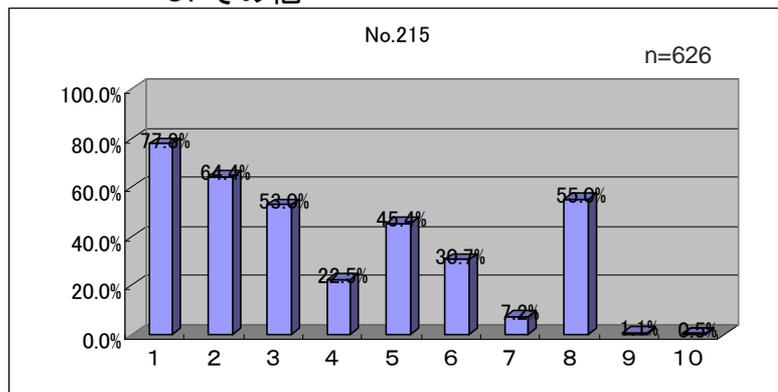
- <小学校> ・子どもたち一人ひとりが自分の将来の夢の実現に向けた方法を考える。
- <中学校> ・保護者もしくは保護者の知人の職場へ見学に行く。
- ・職場訪問や職場見学における目的やねらいと道徳的価値を結びつけた道徳教育。
- ・職業講和の実施。

No.215

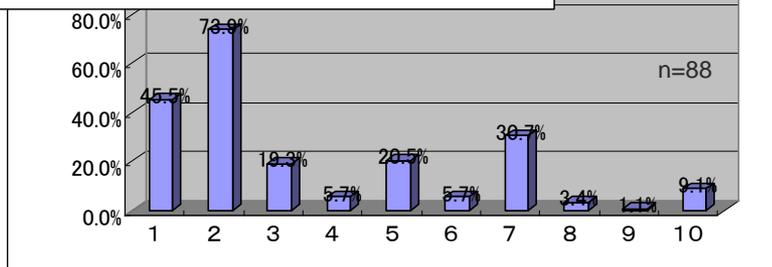
No.211において1を選んだ場合、平成22年度中に行った職場訪問や職場見学について、事後に行っている指導内容として当てはまるものをすべて選んで下さい。

1. 礼状等の作成
2. 報告書、レポート等の作成
3. 学級、学年又は全校を単位として校内の児童生徒や教職員を対象に発表会を実施
4. 学級、学年又は全校を単位として学校外の関係者も含め発表会を実施
5. キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらいが達成できたかどうかについての学級や学年での全体指導
6. キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについてのグループでの話し合い活動
7. キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについての個人面談・個別指導
8. キャリア教育の一環としての職場訪問や職場見学を通して学んだことと教科の学習内容とを結びつけた指導
9. その他
10. 特に何もしていない

中学校



小学校



高等学校

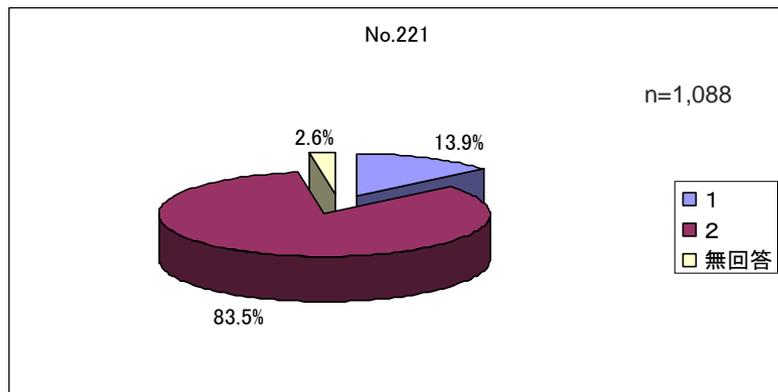
9. その他の具体的な主な回答

- <小学校> ・学んだことを社会科の時間でグループで新聞としてまとめる指導。
- <中学校> ・事業所への事後アンケート。
- ・職場訪問や職場見学における目的やねらいと道徳的価値を結びつけた道徳教育。
- ・壁新聞の作成。

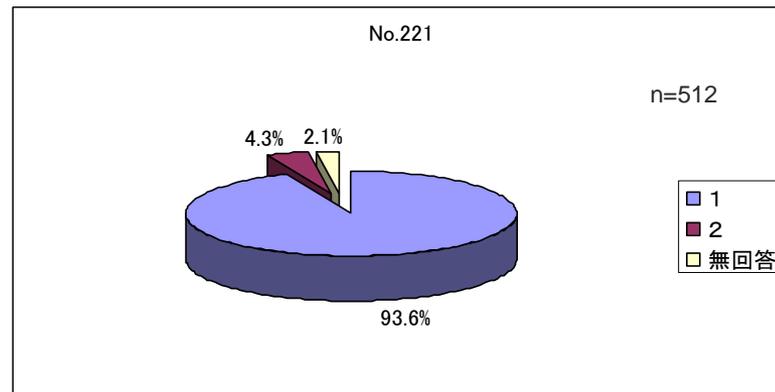
No.221

平成22年度中に事業所等における職場体験活動やインターンシップを実施しましたか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

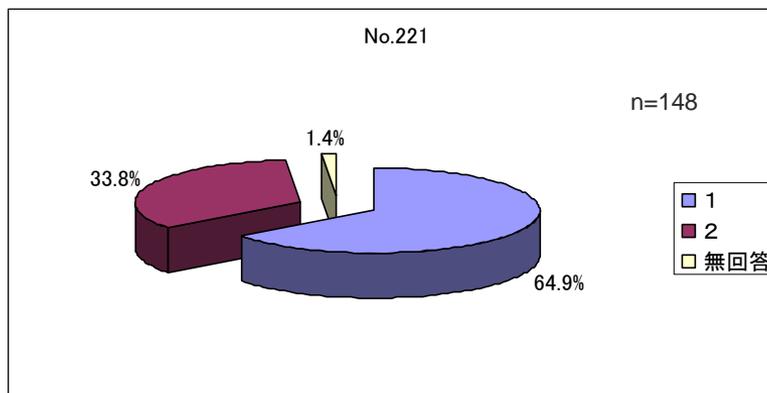
1. 実施した。
2. 実施していない。



小学校



中学校

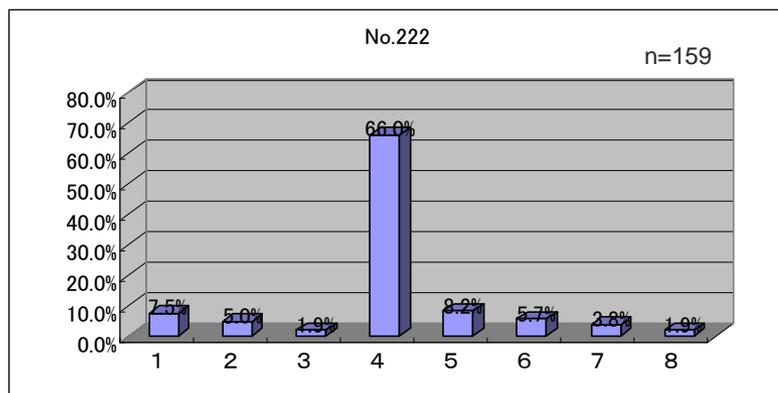


高等学校

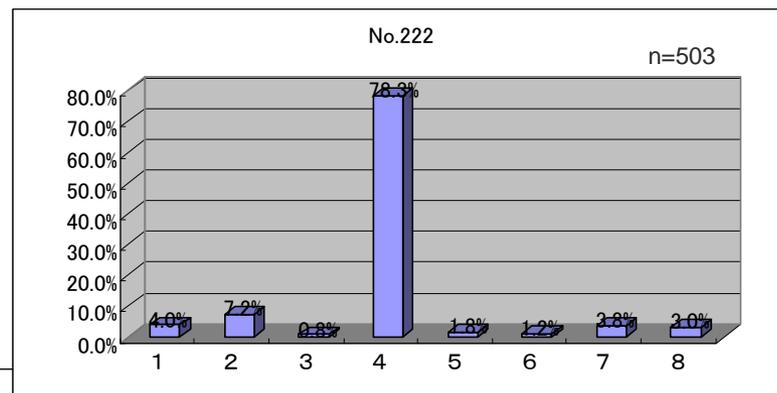
No.222

No.221において1を選んだ場合、平成22年度中に行った事業所等における職場体験活動やインターンシップについて、主に相手方の職場、企業等との交渉、連絡、調整を行うのは誰ですか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

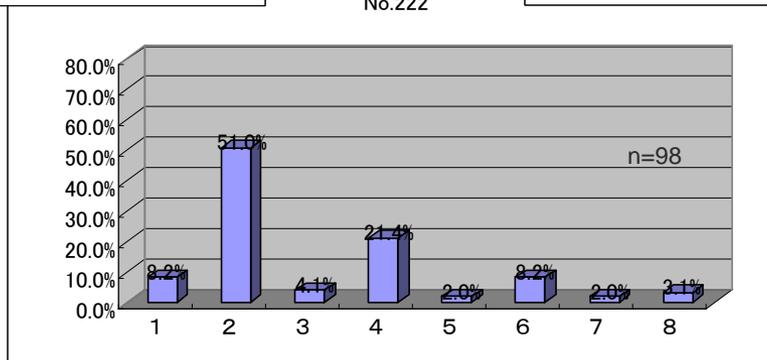
1. 「キャリア教育推進部」等、キャリア教育推進に特化して校務分掌上に位置づけられた部署に配置されている担当者
2. 選択肢No.1以外の進路指導部、生徒指導部などの校務分掌に配置されている担当者
3. 分掌として組織されていないキャリア教育のための委員会等に配置されている担当者
4. 職場体験活動やインターンシップを行う学年の担当者
5. 特定のポストに就いた者(校長、副校長、教頭等)
6. 教職員の中の特定の個人
7. 児童・生徒
8. その他教職員



小学校



中学校

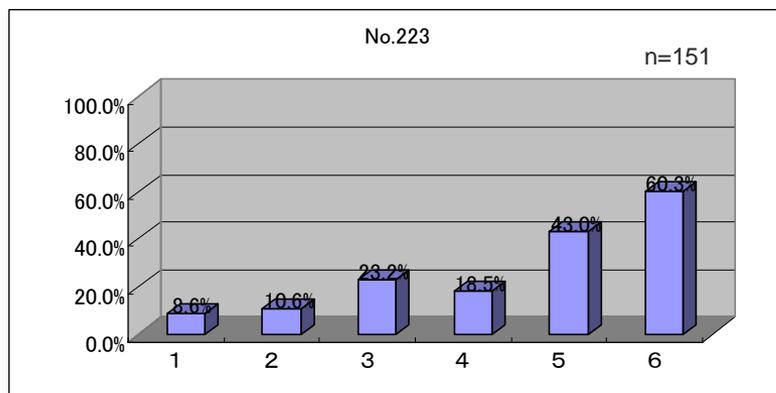


高等学校

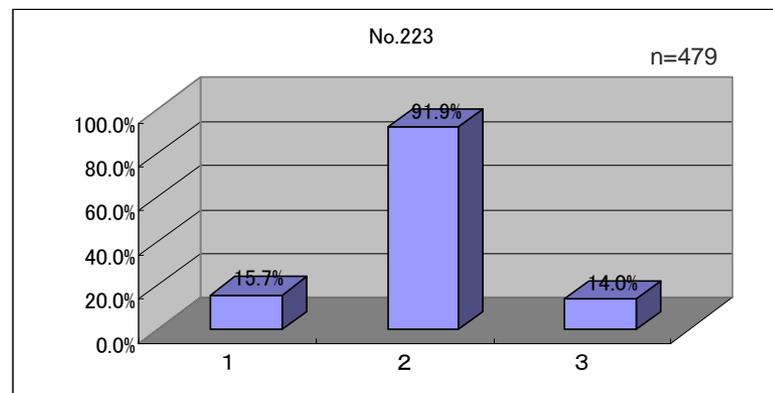
No.223

No.221において1を選んだ場合、平成22年度中に行った事業所等における職場体験活動やインターンシップについて、主に何年生の児童生徒を対象に実施しているか、当てはまるものをすべて選んで下さい。

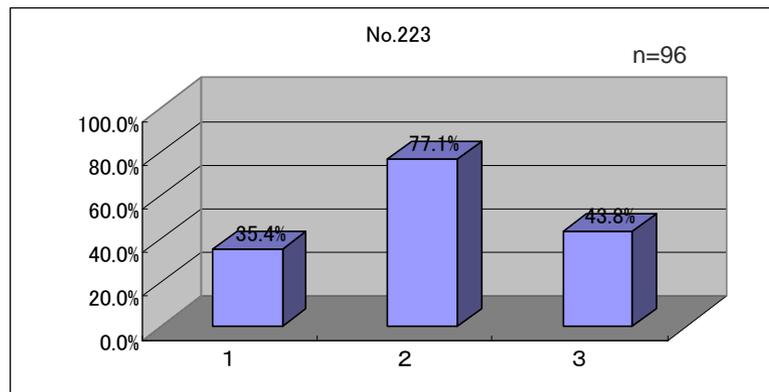
1. 1年生(中等教育学校後期課程4年生を含む)
2. 2年生(中等教育学校後期課程5年生を含む)
3. 3年生(中等教育学校後期課程6年生を含む)
4. 4年生
5. 5年生
6. 6年生



小学校



中学校

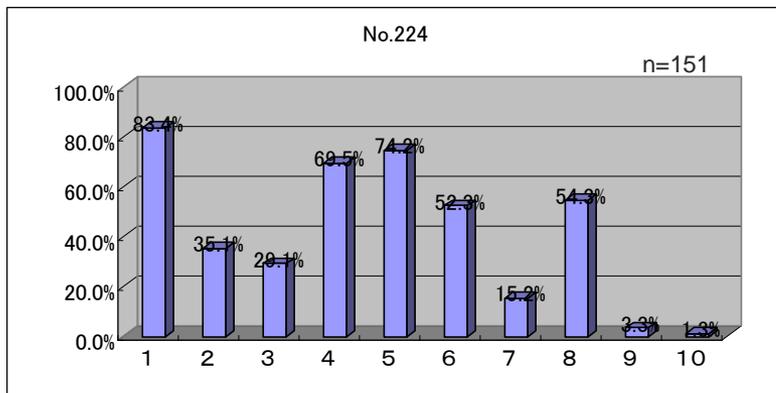


高等学校

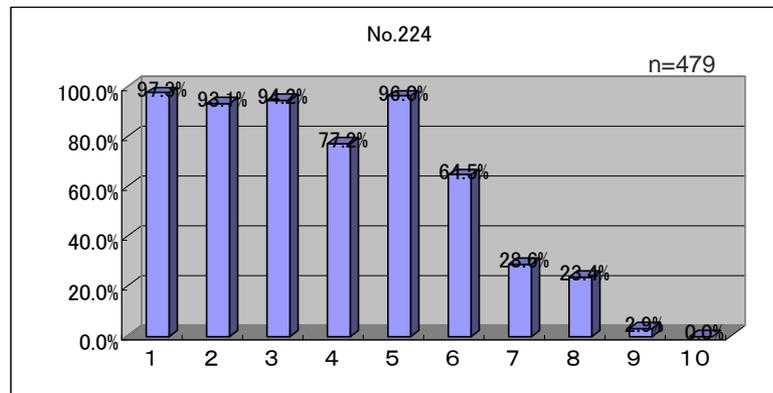
No.224

No.221において1を選んだ場合、平成22年度中に行った事業所等における職場体験活動やインターンシップについて、事前に行っている指導内容として当てはまるものをすべて選んで下さい。

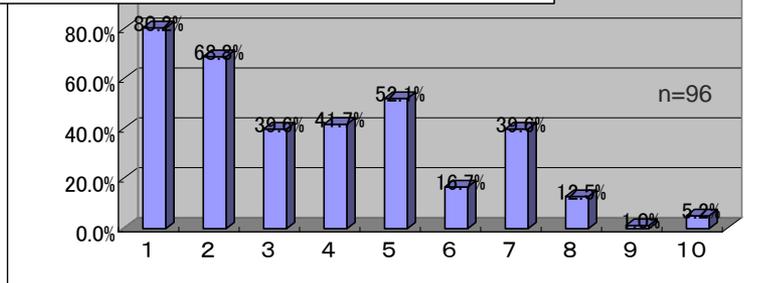
1. マナー研修(礼儀作法や挨拶の方法の指導)
2. 緊急連絡先の確認等
3. 児童生徒が、訪問する事業所等に事前に連絡を入れる場合の電話のかけ方や話し方についての指導
4. 訪問先についての調べ学習
5. キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらいに関する学級や学年での全体指導
6. キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらい、学びたいことに関するグループでの話し合い活動
7. キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらい、学びたいことに関する個人面談・個別指導
8. キャリア教育の一環としての職場体験活動やインターンシップと教科の学習内容とを結びつけた指導
9. その他
10. 特に何もしていない



小学校



中学校



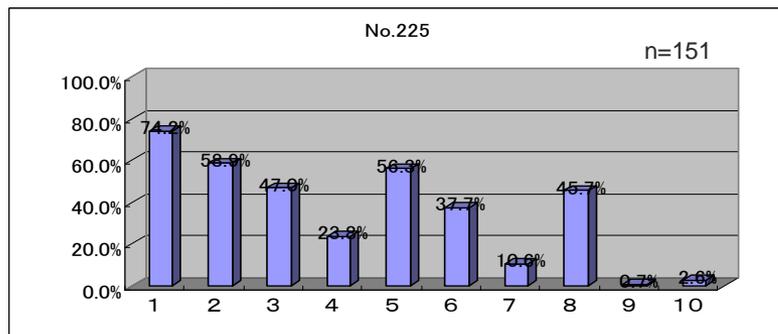
高等学校

9. その他の具体的な主な回答
 <中学校> ・近所の事業所の方を招いての講和。
 ・将来の進路を考えさせる授業を行う。

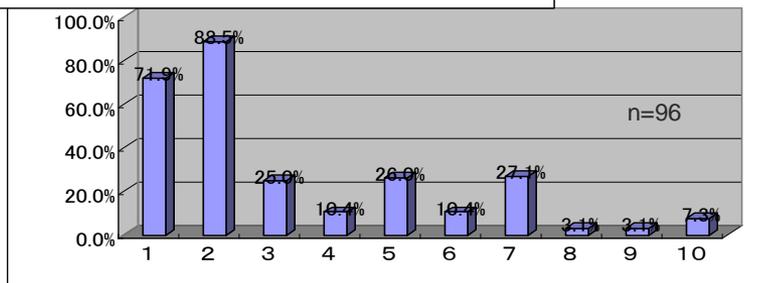
No.225

No.221において1を選んだ場合、平成22年度中に行った事業所等における職場体験活動やインターンシップについて、事後に行っている指導内容として当てはまるものをすべて選んで下さい。

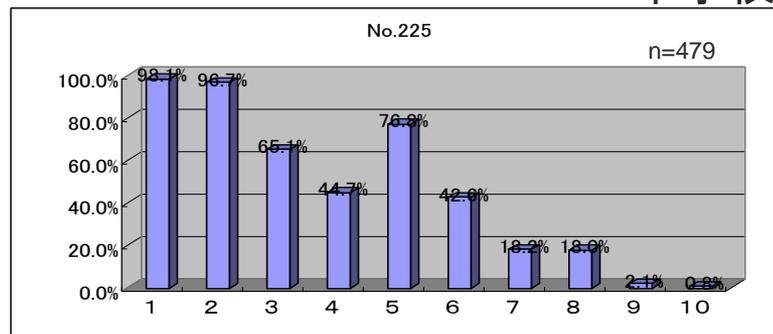
1. 礼状等の作成
2. 報告書、レポート等の作成
3. 学級、学年又は全校を単位として校内の児童生徒や教職員を対象に発表会を実施
4. 学級、学年又は全校を単位として学校外の関係者も含め発表会を実施
5. キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらいが達成できたかどうかについての学級や学年での全体指導
6. キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについてのグループでの話し合い活動
7. キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについての個人面談・個別指導
8. キャリア教育の一環としての職場体験活動やインターンシップを通して学んだことと教科の学習内容とを結びつけた指導
9. その他
10. 特に何もしていない



小学校



高等学校



中学校

9. その他の具体的な主な回答

<中学校> ・中学校卒業後の進路についての学習と、立志式の実施。
 ・事業所に対する企画・提案。

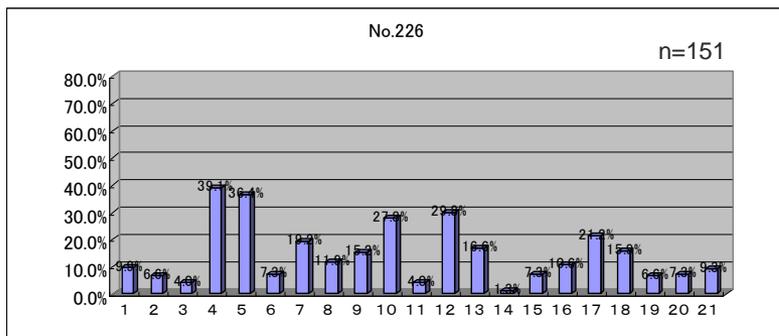
・体験したことや体験を通して学んだことをまとめて脚本を作成し、文化発表会で劇を上演した。

<高等学校> ・生徒がまとめた事後レポートを、生徒・保護者向けの進路便りに掲載した。

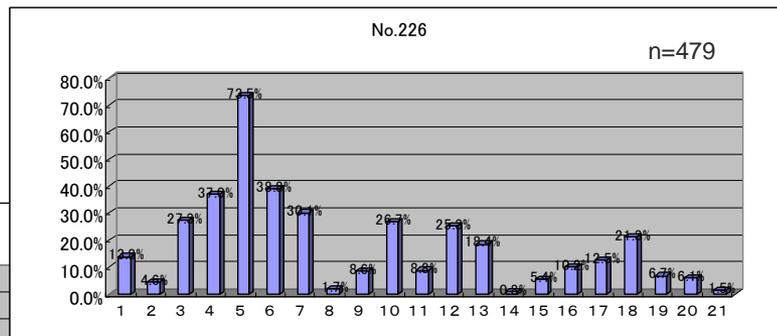
No.226 ①

No.221において1を選んだ場合、事業所等における職場体験活動やインターンシップを実施していくにあたっての課題について当てはまるものを最大5つまで選んで下さい。

1. 予算が十分に確保できない。
2. 事業所等に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
3. 事業所等に支援を依頼しても、断られてしまう。
4. 学校の周辺に事業所等が少ない(ない)。
5. 児童生徒が希望する職種にあった事業所等を確保したいが、学校の周辺にその職種にあった事業所等がない。
6. 昨今の経済環境の下、以前支援をしてくれていた事業所等が、支援をしてくれなくなってしまう等、景気の変動により、支援してくれるかどうかの予想がつかない。
7. 事業所等に支援依頼をして回るための時間がない。
8. 職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するためのノウハウがない。
9. 職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
10. 職場体験活動やインターンシップに当てる日数を増やしたい(維持したい)が、カリキュラムの関係で、日数を増やす(維持する)ことが出来ない。
11. 現在は、職場体験活動やインターンシップを長期休業期間中に実施しており、それを休業日以外の時間を使い実施したいが、カリキュラムの関係で、時間を設定することが出来ない。
12. 支援してくれる事業所等と打合せの時間をもちたいが、時間がない(時間が合わない)。
13. 支援してくれる事業所等と職場体験活動やインターンシップの目的やねらいについて、十分な共有化が出来ていない。
14. 職場体験活動やインターンシップは参加者が希望者制になっているが、なかなか体験を希望する児童生徒が集まらない。
15. 職場体験活動やインターンシップについて、更なる充実に向けた教職員の気運が高まっていない。
16. 毎年、担当学年が事業所等の開拓を行っており、学校としての実施体制が整っていない。
17. 毎年恒例の行事として実施しており、特段の見直しや改善が図られていない。
18. 学校と事業所等とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
19. 教育委員会の支援体制が整っていない。
20. その他
21. 特にない

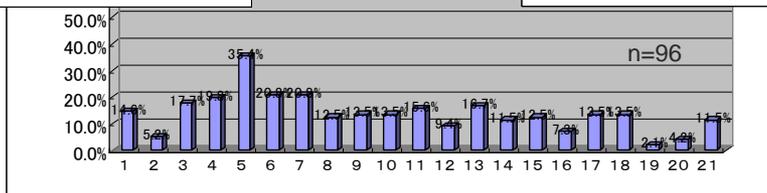


小学校



中学校

高等学校



No.226 ②

No.221において1を選んだ場合、事業所等における職場体験活動やインターンシップを実施していくにあたっての課題について当てはまるものを最大5つまで選んで下さい。

1. 予算が十分に確保できない。
2. 事業所等に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
3. 事業所等に支援を依頼しても、断られてしまう。
4. 学校の周辺に事業所等が少ない(ない)。
5. 児童生徒が希望する職種にあった事業所等を確保したいが、学校の周辺にその職種にあった事業所等がない。
6. 昨今の経済環境の下、以前支援をしてくれていた事業所等が、支援をしてくれなくなってしまう等、景気の変動により、支援してくれるかどうかの予想がつかない。
7. 事業所等に支援依頼をして回るための時間がない。
8. 職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するためのノウハウがない。
9. 職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
10. 職場体験活動やインターンシップに当てる日数を増やしたい(維持したい)が、カリキュラムの関係で、日数を増やす(維持する)ことが出来ない。
11. 現在は、職場体験活動やインターンシップを長期休業期間中に実施しており、それを休業日以外の時間を使い実施したいが、カリキュラムの関係で、時間を設定することが出来ない。
12. 支援してくれる事業所等と打合せの時間をもちたいが、時間がない(時間が合わない)。
13. 支援してくれる事業所等と職場体験活動やインターンシップの目的やねらいについて、十分な共有化が出来ていない。
14. 職場体験活動やインターンシップは参加者が希望者制になっているが、なかなか体験を希望する児童生徒が集まらない。
15. 職場体験活動やインターンシップについて、更なる充実に向けた教職員の気運が高まっていない。
16. 毎年、担当学年が事業所等の開拓を行っており、学校としての実施体制が整っていない。
17. 毎年恒例の行事として実施しており、特段の見直しや改善が図られていない。
18. 学校と事業所等とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
19. 教育委員会の支援体制が整っていない。
20. その他
21. 特にない

20. その他の具体的な主な回答

<小学校> ・児童が希望しない事業所で活動することがある。

- ・近隣の学校と体験場所が重なる。
- ・保護者の協力が得られない。(送迎等について)
- ・事業所までの移動手段について予算がないので、事業所の選択に制約が出てくる。

<中学校> ・事業所までの移動手段と安全性の確保に不安が残る。

- ・事前、事後指導に時間を要し、学習指導への妨げになっている。
- ・生徒が希望しない、体験先への派遣がどうしても残ってしまう。
- ・事務所等への往復の費用の問題。
- ・設備の破損やけがの場合を考えた損害保険の費用の捻出。
- ・近隣の学校と実施の時期が重なったり、また場所的に近かったりとの理由で、事業所の確保が難しい。
- ・役所や図書館など公的機関における職場体験の受入先が比較的少ない。

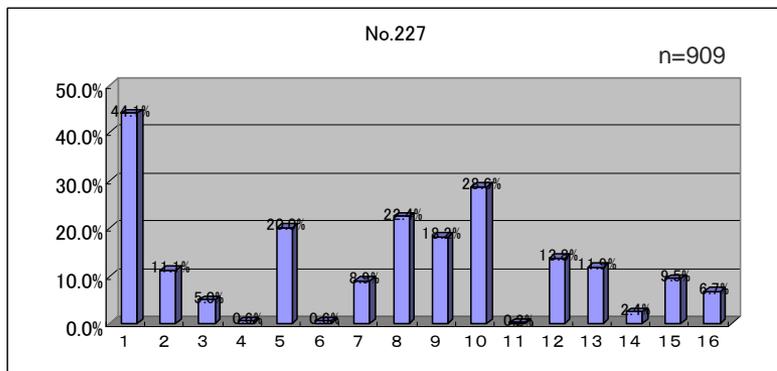
<高等学校> ・希望する職種にあった事業所等を確保しにくい面がある。

- ・インターンシップ先の受け入れ人数。
- ・当該事業所と担当職員、生徒との日程調整がなかなかうまくいかない事例があった。

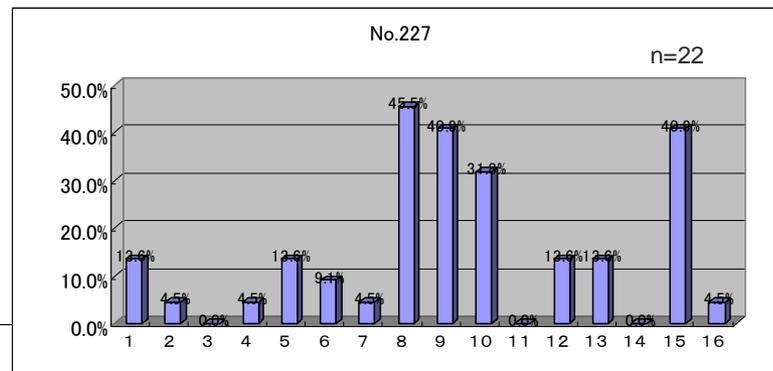
No.227 ①

No.221において2を選んだ場合、事業所等における職場体験活動やインターンシップを実施していくにあたっての課題について当てはまるものを最大5つまで選んで下さい。

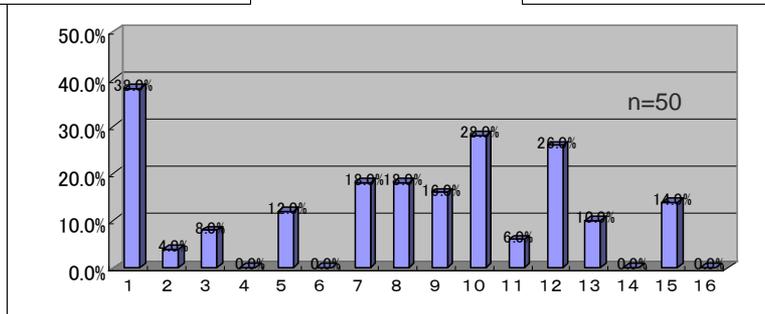
1. 特段必要性を感じない。
2. 予算が十分に確保できない。
3. 事業所等に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
4. 事業所等に支援を依頼しても、断られてしまう。
5. 学校の周辺に事業所等が少ない(ない)。
6. 昨今の経済環境の下、以前支援をしてくれていた事業所等や商店会等が、協力をしてくれなくなってしまい(無くなってしまい)、実施できなくなった。
7. 事業所等に協力依頼をして回るための時間がない。
8. 職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するためのノウハウがない。
9. 職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
10. 職場体験活動やインターンシップに当てる時間(日数)を設定したいが、カリキュラムの関係で、時間(日数)を増やす(設定する)ことが出来ない。
11. 職場体験活動やインターンシップは希望者制で実施しようと考えているが(以前は実施していたが)、参加希望者が集まらないため実施していない。
12. 職場体験活動やインターンシップについて、実施に向けた教職員の気運が高まっていない。
13. 学校と事業所等とを仲介・調整するコーディネーターがない。
14. 教育委員会の支援体制が整っていない。
15. その他
16. 特になし



小学校



中学校



高等学校

No.227 ②

No.221において2を選んだ場合、事業所等における職場体験活動やインターンシップを実施していくにあたっての課題について当てはまるものを最大5つまで選んで下さい。

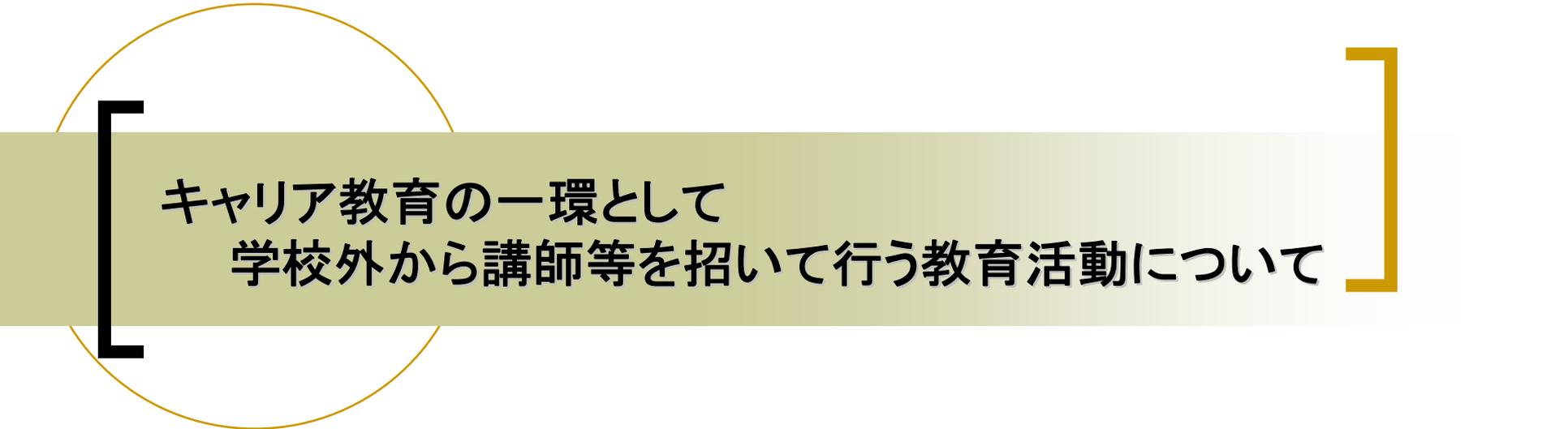
1. 特段必要性を感じない。
2. 予算が十分に確保できない。
3. 事業所等に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
4. 事業所等に支援を依頼しても、断られてしまう。
5. 学校の周辺に事業所等が少ない(ない)。
6. 昨今の経済環境の下、以前支援をしてくれていた事業所等や商店会等が、協力をしてくれなくなってしまい(無くなってしまい)、実施できなくなった。
7. 事業所等に協力依頼をして回るための時間がない。
8. 職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するためのノウハウがない。
9. 職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
10. 職場体験活動やインターンシップに当てる時間(日数)を設定したいが、カリキュラムの関係で、時間(日数)を増やす(設定する)ことが出来ない。
11. 職場体験活動やインターンシップは希望者制で実施しようと考えているが(以前は実施していたが)、参加希望者が集まらないため実施していない。
12. 職場体験活動やインターンシップについて、実施に向けた教職員の気運が高まっていない。
13. 学校と事業所等とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
14. 教育委員会の支援体制が整っていない。
15. その他
16. 特にない

15. その他の具体的な主な回答

<小学校> ・小学校であるので、発達段階から考え、高学年における職場訪問や職場見学が適切であるとする。カリキュラムにさほどの余裕時数がないことも考え合わせると、事業所等での職場体験活動やインターンシップは、優先順位は低い。

<中学校> ・学校行事との関係で体験活動をする十分な日程が確保できなかった。
・予算の確保が困難。
・時間の確保が困難。

<高等学校> ・ほとんどの生徒が進学を希望しているので、就職希望者を中心に職場見学などを行うことで十分と考えている。

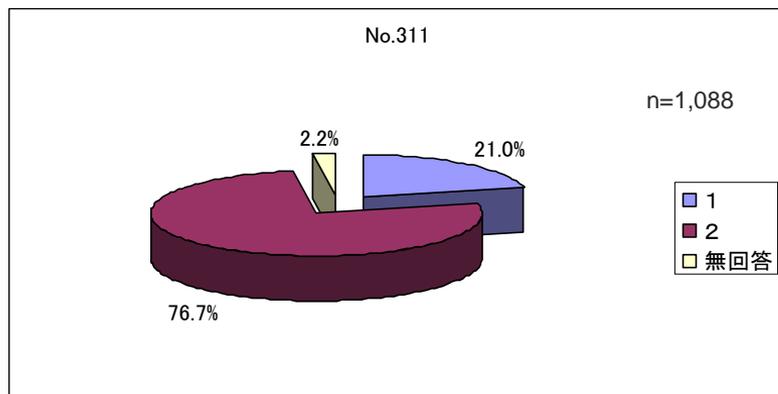


キャリア教育の一環として
学校外から講師等を招いて行う教育活動について

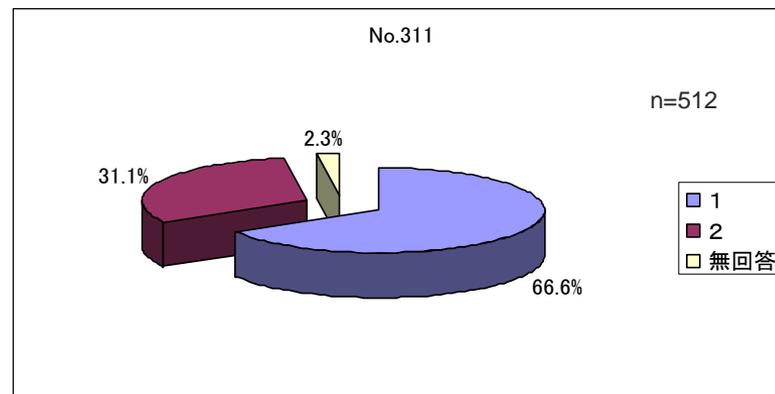
No.311

平成22年度中にキャリア教育の一環として講演会や講話を実施しましたか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

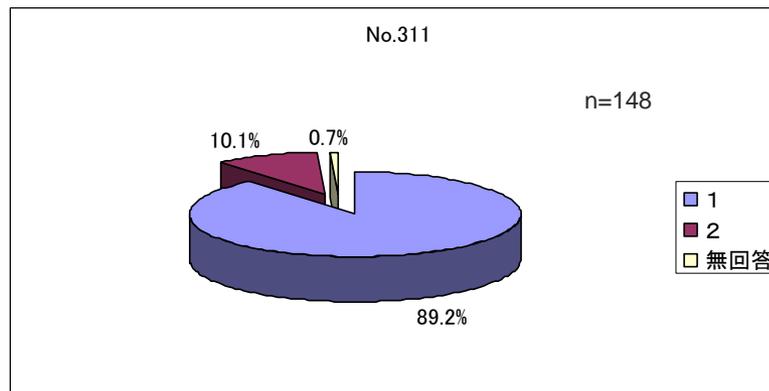
- 1. 実施した。
- 2. 実施していない。



小学校



中学校

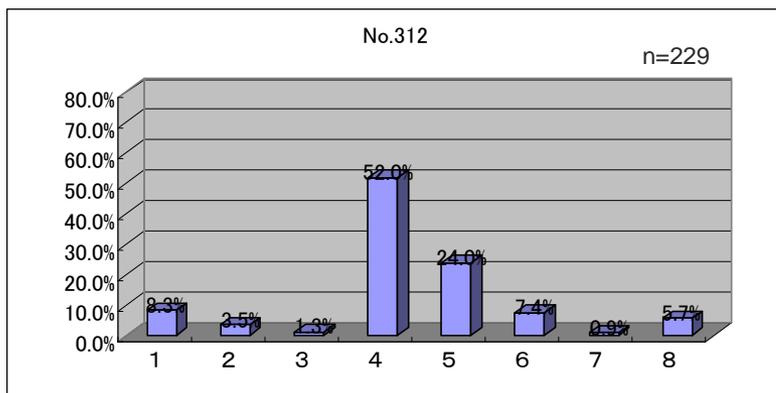


高等学校

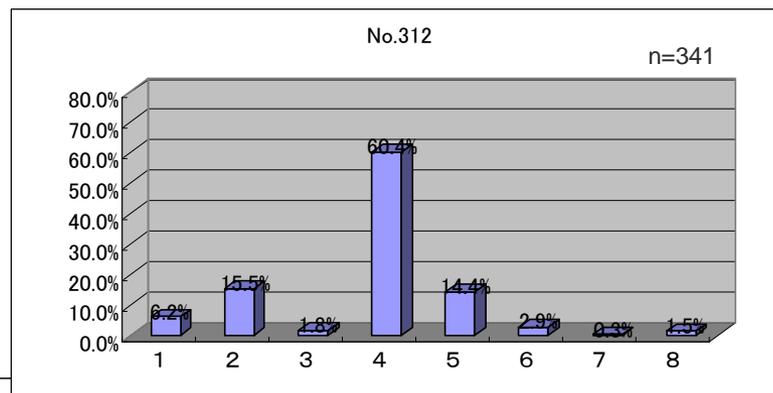
No.312

No.311において1を選んだ場合、平成22年度中に行った講演会、講話について、主に相手方の職場、企業等との交渉、連絡、調整を行うのは誰ですか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

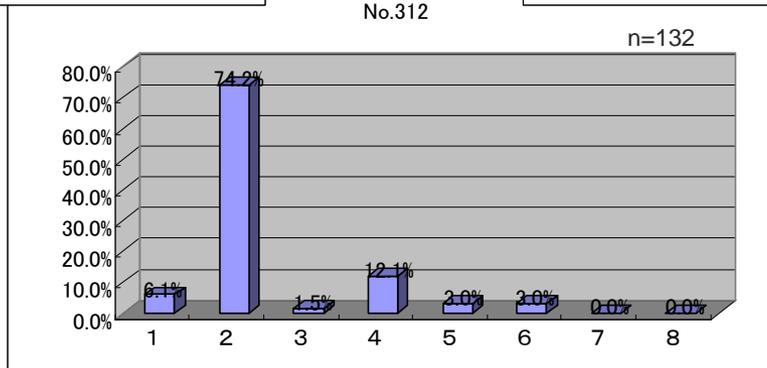
1. 「キャリア教育推進部」等、キャリア教育推進に特化して校務分掌上に位置づけられた部署に配置されている担当者
2. 選択肢No.1以外の進路指導部、生徒指導部などの校務分掌に配置されている担当者
3. 分掌として組織されていないキャリア教育のための委員会等に配置されている担当者
4. 講演会や講話を行う学年の担当者
5. 特定のポストに就いた者(校長、副校長、教頭等)
6. 教職員の中の特定の個人
7. 児童・生徒
8. その他教職員



小学校



中学校

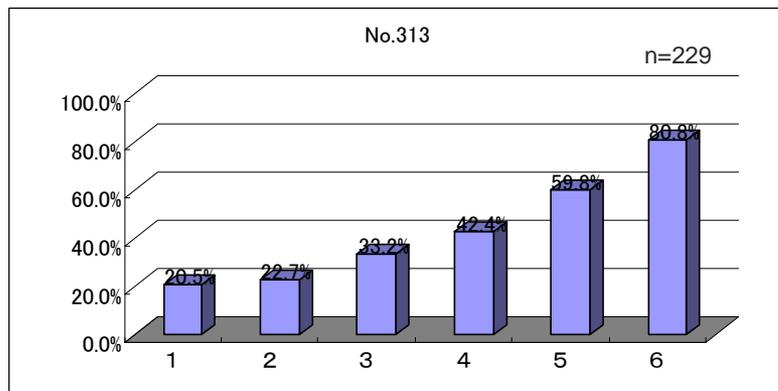


高等学校

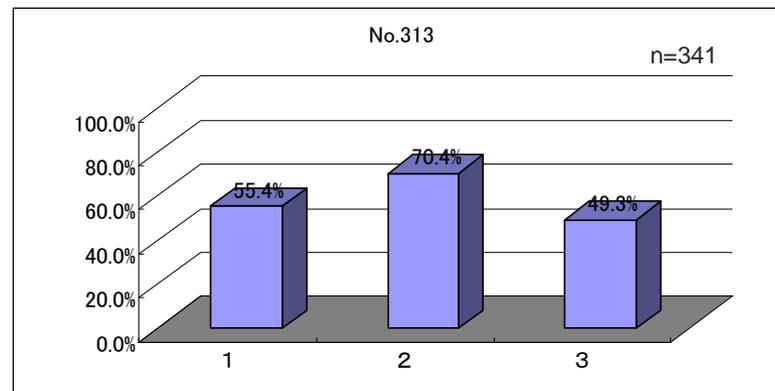
No.313

No.311において1を選んだ場合、平成22年度中に行った講演会、講話について、主に何年生の児童生徒を対象に実施しているか、当てはまるものをすべて選んで下さい。

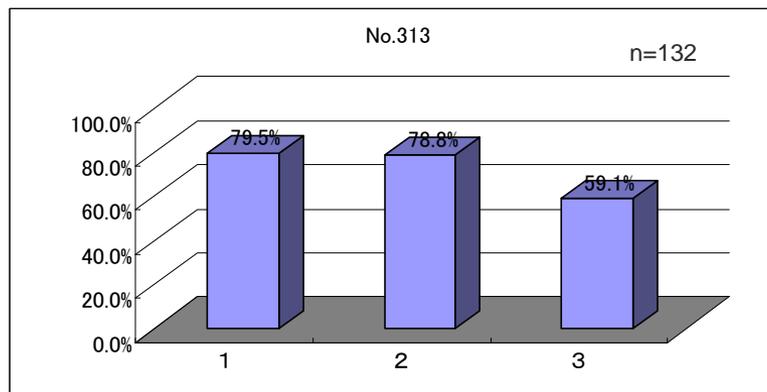
1. 1年生(中等教育学校後期課程4年生を含む)
2. 2年生(中等教育学校後期課程5年生を含む)
3. 3年生(中等教育学校後期課程6年生を含む)
4. 4年生
5. 5年生
6. 6年生



小学校



中学校



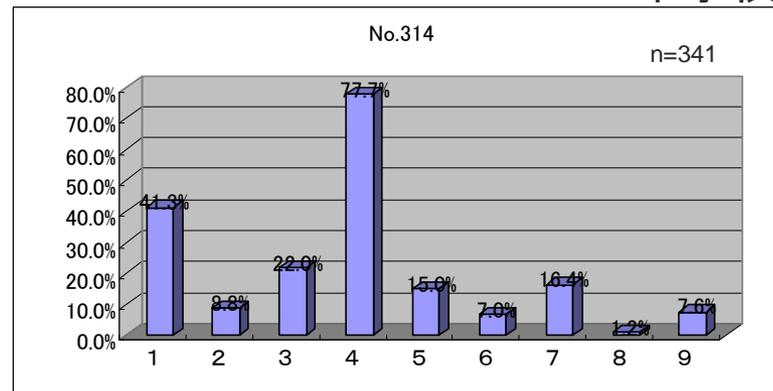
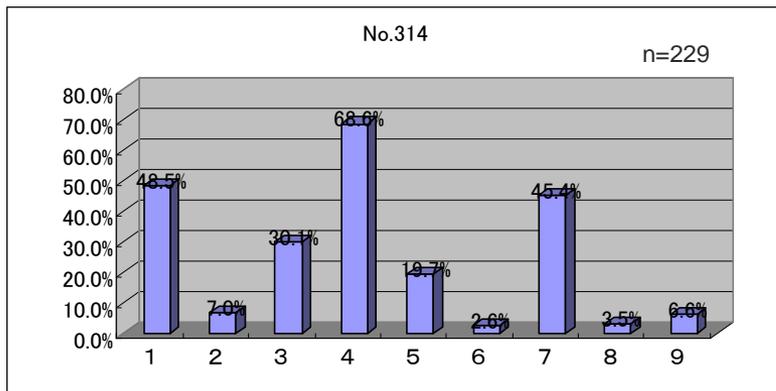
高等学校

No.314

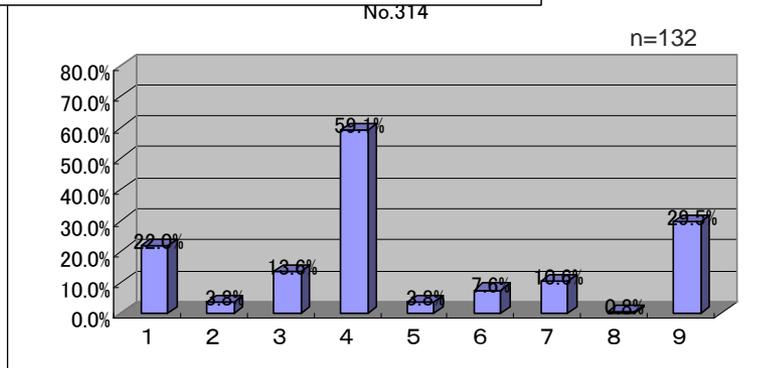
No.311において1を選んだ場合、平成22年度中に行った講演会、講話について、事前に行っている指導内容として当てはまるものをすべて選んで下さい。

1. マナー研修(礼儀作法や挨拶の方法の指導)
2. 児童生徒が、来校する講演者に事前に連絡を入れる場合の電話のかけ方や話し方についての指導
3. 来校が決定した講演者やその講演内容についての調べ学習
4. キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらいに関する学級や学年での全体指導
5. キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらい、学びたいことに関するグループでの話し合い活動
6. キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらい、学びたいことに関する個人面談・個別指導
7. キャリア教育の一環としての講演会や講話と教科の学習内容とを結びつけた指導
8. その他
9. 特に何もしていない

中学校



小学校



高等学校

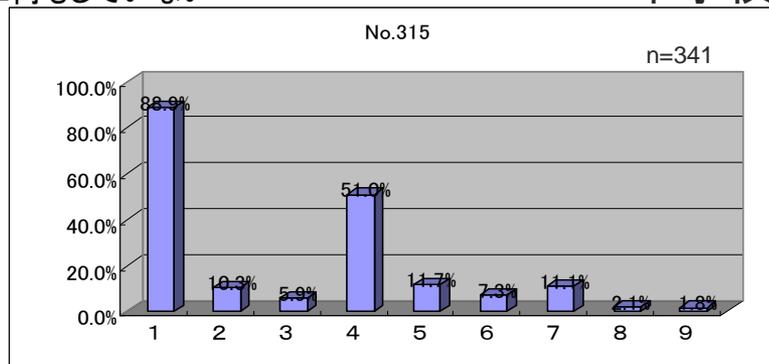
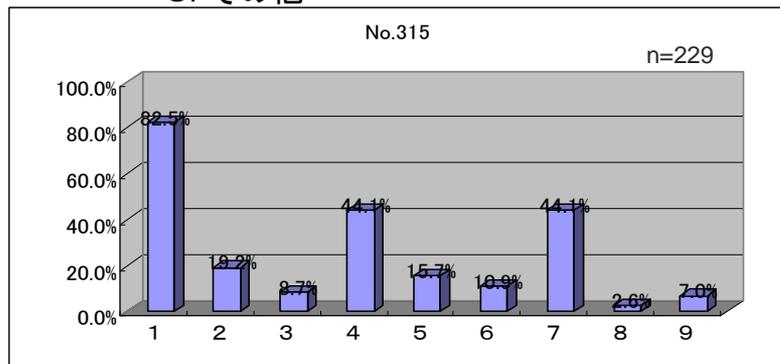
8. その他の具体的な主な回答
 <小学校> ・自分が将来就きたい仕事を調べさせ、講師の話を通して、将来自分の糧となる要素を捉えさせるように指導している。
 ・卒業を前にして、将来の夢や希望を持たせる動機付け
 <中学校> ・テーマに関連した作文を生徒に事前にかかせ、送付し、講演者にその内容に沿った話をしてもらう。
 <高等学校> ・リーフレットの作成、配布。

No.315

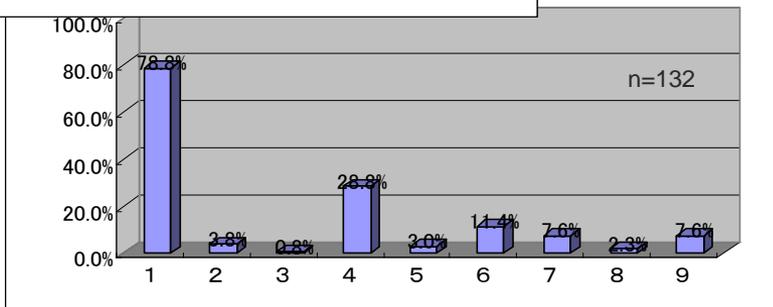
No.311において1を選んだ場合、平成22年度中に行った講演会、講話について、事後に行っている指導内容として当てはまるものをすべて選んで下さい。

1. 感想文、意見文等の作成
2. 学級、学年又は全校を単位として校内の児童生徒や教職員を対象に発表会を実施
3. 学級、学年又は全校を単位として学校外の関係者も含め発表会を実施
4. キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらいが達成できたかどうかについての学級や学年での全体指導
5. キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについてのグループでの話し合い活動
6. キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについての個人面談・個別指導
7. キャリア教育の一環としての講演会や講話を通して学んだことと教科の学習内容とを結びつけた指導
8. その他
9. 特に何もしていない

中学校



小学校



高等学校

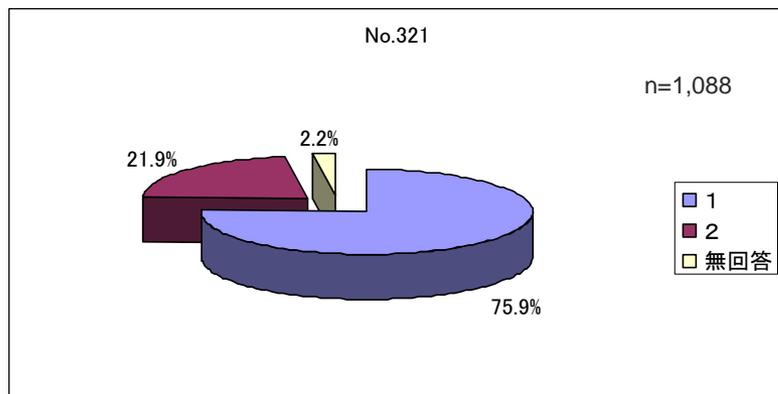
8. その他の具体的な主な回答

- <小学校>
 - ・自分の行き方について振り返る指導。
 - ・学年便りや学級掲示物による、目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについての振り返り、保護者へのお知らせ
 - ・地域の先人から将来の夢や生き方についての学び、感謝の心を育てる。
- <中学校>
 - ・学年便りを発行して振り返り学習を行った。 29
 - ・卒業式にて、自分の将来の夢の実現に向けた考えの発表。
- <高等学校>
 - ・講演者との質疑応答、談話等。

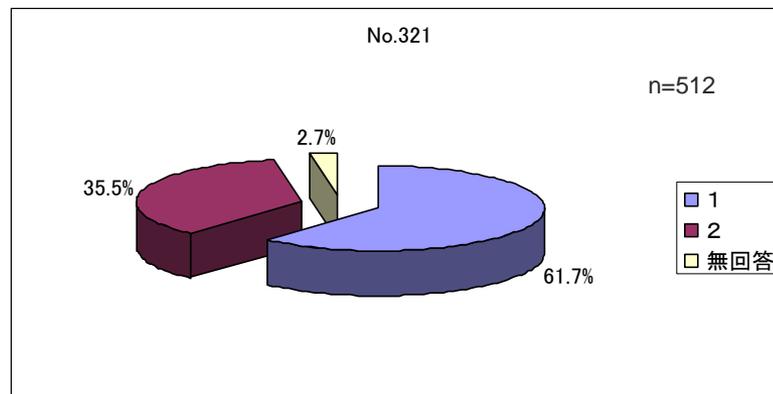
No.321

体験的な活動の場面や講演会、講話以外に教科等における学習内容の理解を深めたり、社会とのつながりを意識させたりする等のために、学校外部の教育資源を活用したことはありますか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

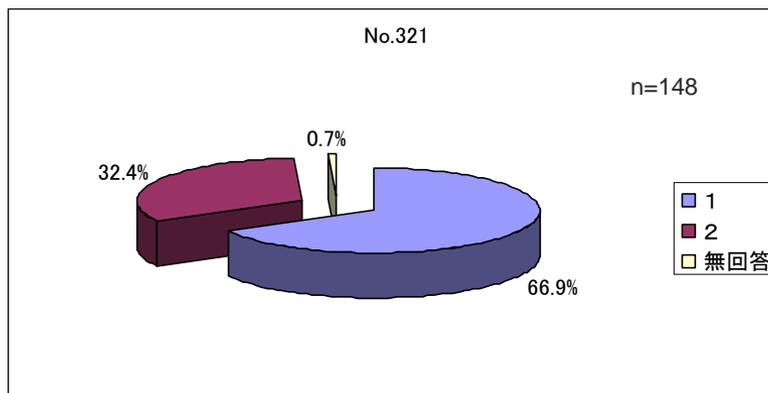
1. 活用している(平成22年度内に一度でも活用したことがある場合を含む)。
2. 活用していない。



小学校



中学校

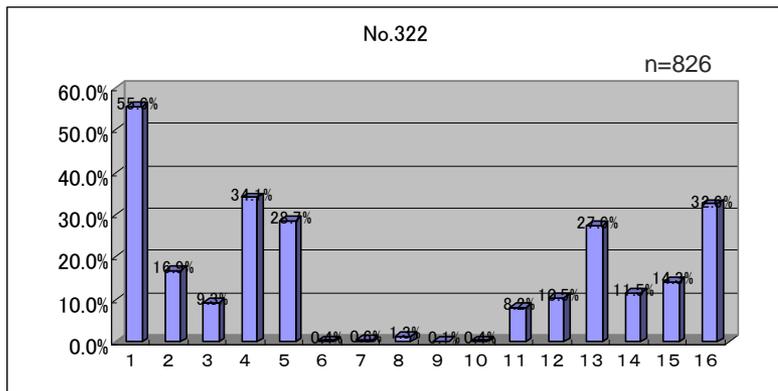


高等学校

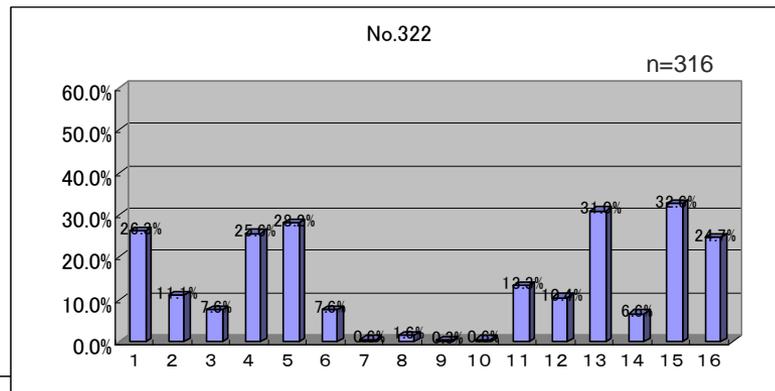
No.322

No.321において1を選んだ場合、どのような人材を活用・協働(以下、活用とする。)していますか(しましたか)。次のうちから当てはまるものをすべて選んで下さい。(※1)

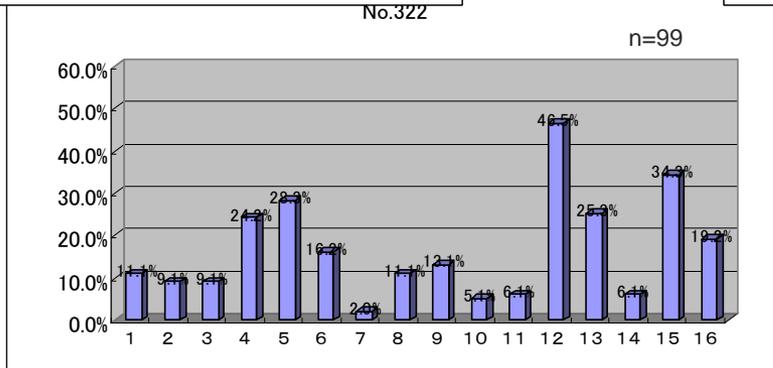
1. 児童生徒の保護者
2. 商店会、青年会議所等の職員
3. 商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
4. NPO法人、任意団体等の人材
5. 産業界(企業等)の人材
6. ハローワークの職員
7. 地域若者サポートステーションの職員
8. ジョブカフェの職員
9. 就職支援員(※2)・就職補助員
10. キャリア・コンサルタント(※3)
11. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
12. 学識経験者(大学教授や准教授等)
13. 医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
14. 教育委員会の職員
15. 上級学校の生徒、学生
16. その他



小学校



中学校



高等学校

(※1) 活用している人材が、上記選択肢の中の複数の立場にある場合、その人材をどの立場で活用したかという視点で、1つだけ選んで下さい。

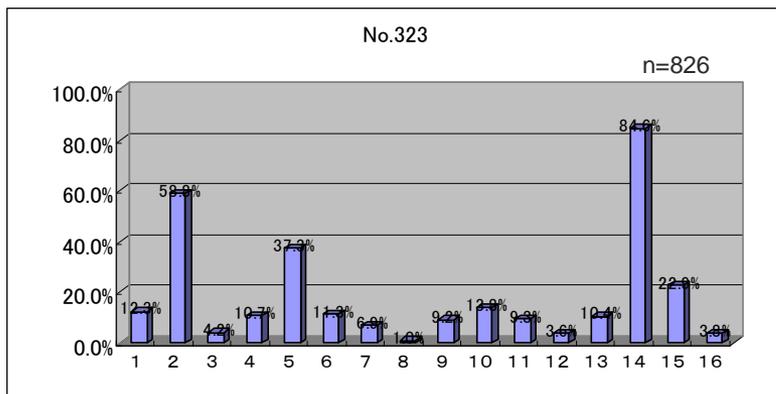
(※2) 上記設問における就職支援員には、ジョブサポートティーチャーは含まれません。

(※3) 上記設問における「キャリア・コンサルタント」とは、厚生労働省の認可を受けて養成講座と認定試験を行っている団体が付与する「キャリア・コンサルタント」資格を持つ人材のことを指します。

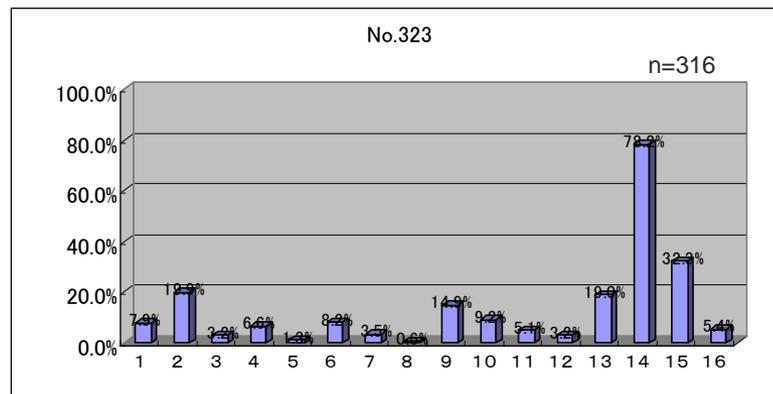
No.323

No.321において1を選んだ場合、どの教科等の授業で活用していますか(しましたか)。次のうちから当てはまるものをすべて選んで下さい。

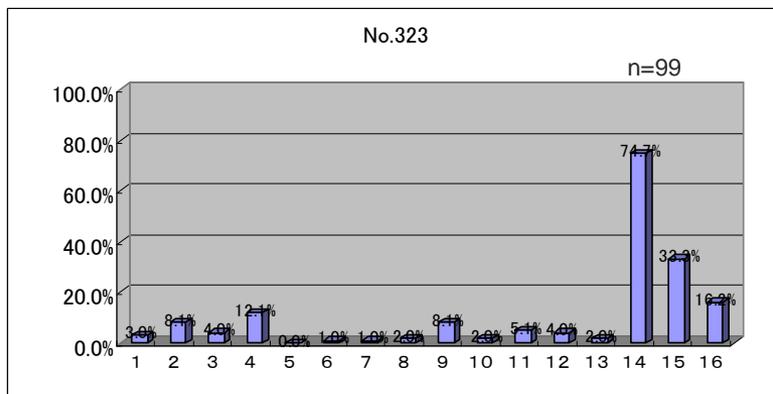
- 1. 国語 2. 社会／地理歴史／公民 3. 算数／数学 4. 理科 5. 生活
- 6. 音楽 7. 図画・工作／美術 8. 芸術 9. 家庭／技術・家庭 10. 体育／保健体育
- 11. 外国語活動／外国語 12. 情報 13. 道徳の時間
- 15. 特別活動 16. その他



小学校



中学校



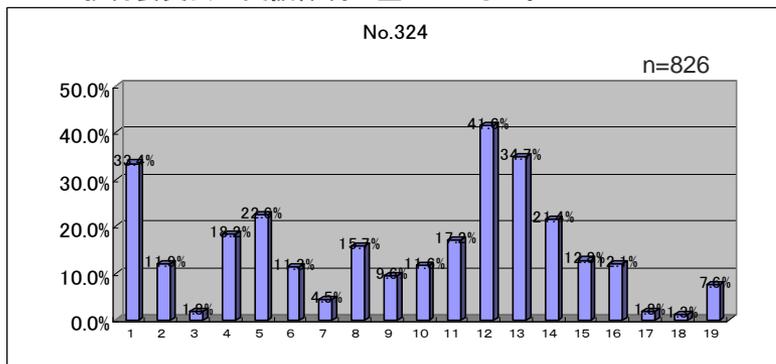
高等学校

16. その他の具体的な主な回答
 <小学校> ・休み時間 ・朝の活動 ・昼休みの教育相談
 <中学校> ・放課後の時間 ・教育相談 ・朝の時間 ・土曜日の学習会
 ・夏季休業中
 <高等学校> ・放課後の時間

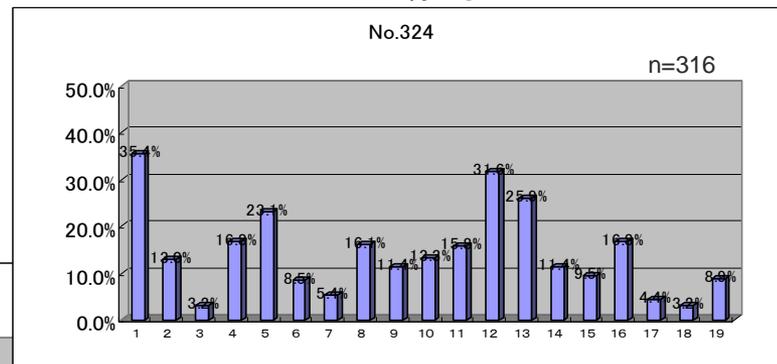
No.324 ①

No.321において1を選んだ場合、学校外部の教育資源を活用した教科指導を実施していくにあたっての課題について当てはまるものを最大5つまで選んで下さい。

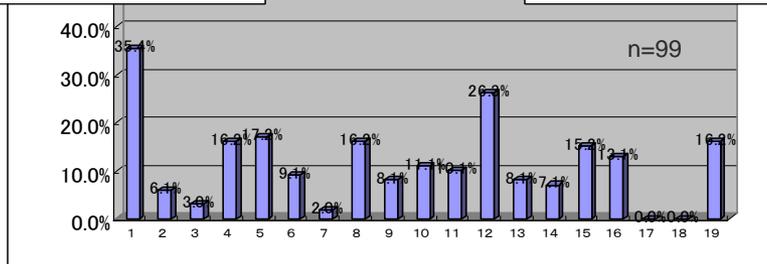
1. 予算が十分に確保できない。
2. 学校外部の人材に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
3. 学校外部の人材に支援を依頼しても、断られてしまう。
4. 学校の周辺に支援を依頼する人材が少ない(ない)。
5. どのような支援を得られるのか、詳しい情報がない。
6. 提供される支援の内容が学校のニーズと合致しない。
7. 提供される支援の内容が学校外部の人材により決定され、教員が主体的にかかわることが出来ていない。
8. 提供される支援とのタイミングが合わない。(既に年度の計画は決まってしまう、等。)
9. 学校外部の人材に支援依頼をするための時間がない。
10. 学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するためのノウハウがない。
11. 学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
12. 学校外部の教育資源を活用した教科指導に当てる時間を増やしたい(維持したい)が、カリキュラムの関係で、時間を増やす(維持する)ことが出来ない。
13. 支援してくれる人材と打合せの時間をもちたいが、時間がない(時間が合わない)。
14. 支援してくれる人材とその教科指導の目的やねらいについて、十分な共有化が出来ていない。
15. 毎年恒例の行事として実施しており、特段の見直しや改善が図られていない。
16. 学校と学校外部の人材とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
17. 教育委員会の支援体制が整っていない。
18. その他
19. 特になし



小学校



中学校



高等学校

No.324 ②

No.321において1を選んだ場合、学校外部の教育資源を活用した教科指導を実施していくにあたっての課題について当てはまるものを最大5つまで選んで下さい。

1. 予算が十分に確保できない。
2. 学校外部の人材に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
3. 学校外部の人材に支援を依頼しても、断られてしまう。
4. 学校の周辺に支援を依頼する人材が少ない(ない)。
5. どのような支援を得られるのか、詳しい情報がない。
6. 提供される支援の内容が学校のニーズと合致しない。
7. 提供される支援の内容が学校外部の人材により決定され、教員が主体的にかかわることが出来ていない。
8. 提供される支援とのタイミングが合わない。(既に年度の計画は決まってしまう、等。)
9. 学校外部の人材に支援依頼をするための時間がない。
10. 学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するためのノウハウがない。
11. 学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
12. 学校外部の教育資源を活用した教科指導に当てる時間を増やしたい(維持したい)が、カリキュラムの関係で、時間を増やす(維持する)ことが出来ない。
13. 支援してくれる人材と打合せの時間もちたいが、時間がない(時間が合わない)。
14. 支援してくれる人材とその教科指導の目的やねらいについて、十分な共有化が出来ていない。
15. 毎年恒例の行事として実施しており、特段の見直しや改善が図られていない。
16. 学校と学校外部の人材とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
17. 教育委員会の支援体制が整っていない。
18. その他
19. 特にない

18. その他の具体的な主な回答

<小学校> ・外部講師の交通費の予算化の問題

・担任や担当者が、手間がかかることをいやがる。

・手続き(申請)等に手間がかかる。

<中学校> ・相手の都合が直前まで決まらないので、事前指導が難しい。また直前に計画が変更となる場合がある。

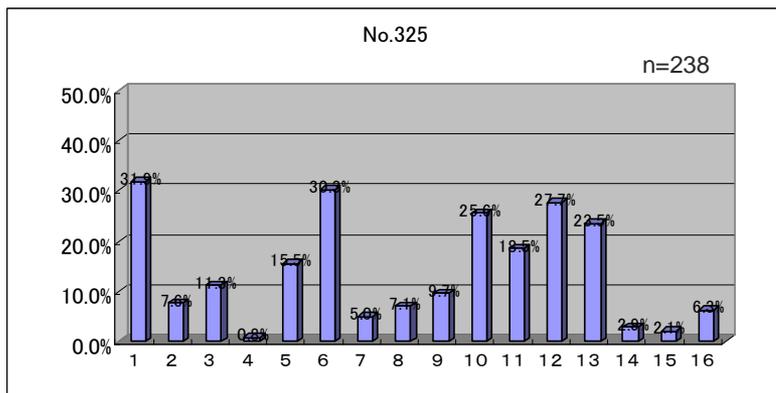
・話をしてもらった内容が、生徒に合っていないと、生徒が理解できなかったりする。

・地域コーディネーターとの連携を構築中である。

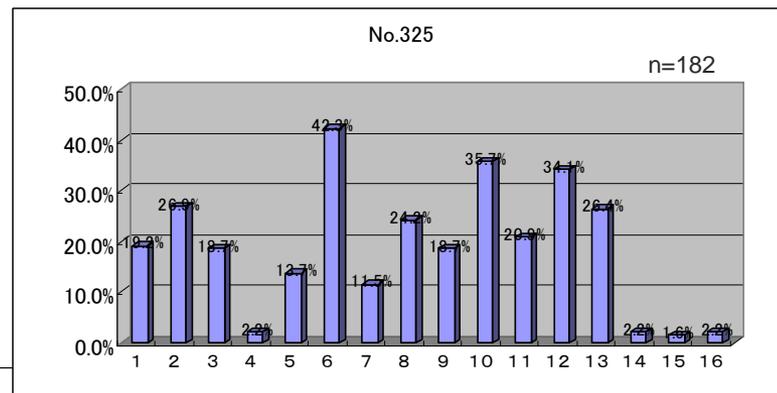
No.325 ①

No.321において2を選んだ場合、学校外部の教育資源を活用した教科指導を実施してない理由について、当てはまるものを最大5つまで選んで下さい。

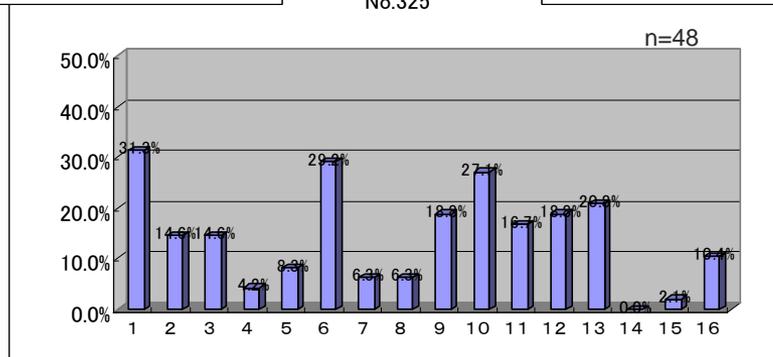
1. 特段必要性を感じない。
2. 予算が十分に確保できない。
3. 学校外部の人材に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
4. 学校外部の人材に支援を依頼しても、断られてしまう。
5. 学校の周辺に支援を依頼する人材が少ない(ない)。
6. どのような支援を得られるのか、詳しい情報がない。
7. 提供される支援の内容が学校のニーズと合致しない。
8. 提供される支援とのタイミングが合わない。(既に年度の計画は決まってしまう、等。)
9. 学校外部の人材に支援依頼をするための時間がない。
10. 学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するためのノウハウがない。
11. 学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
12. 学校外部の教育資源を活用した教科指導に当てる時間を設定したいが、カリキュラムの関係で、時間を設定することが出来ない。
13. 学校と学校外部の人材とを仲介・調整するコーディネーターがない。
14. 教育委員会の支援体制が整っていない。
18. その他(下に具体的に記入)
19. 特にない



小学校



中学校



高等学校

No.325 ②

No.321において2を選んだ場合、学校外部の教育資源を活用した教科指導を実施してない理由について、当てはまるものを最大5つまで選んで下さい。

1. 特段必要性を感じない。
2. 予算が十分に確保できない。
3. 学校外部の人材に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
4. 学校外部の人材に支援を依頼しても、断られてしまう。
5. 学校の周辺に支援を依頼する人材が少ない(ない)。
6. どのような支援を得られるのか、詳しい情報がない。
7. 提供される支援の内容が学校のニーズと合致しない。
8. 提供される支援とのタイミングが合わない。(既に年度の計画は決まってしまう、等。)
9. 学校外部の人材に支援依頼をするための時間がない。
10. 学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するためのノウハウがない。
11. 学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
12. 学校外部の教育資源を活用した教科指導に当てる時間を設定したいが、カリキュラムの関係で、時間を設定することが出来ない。
13. 学校と学校外部の人材とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
14. 教育委員会の支援体制が整っていない。
18. その他
19. 特にない

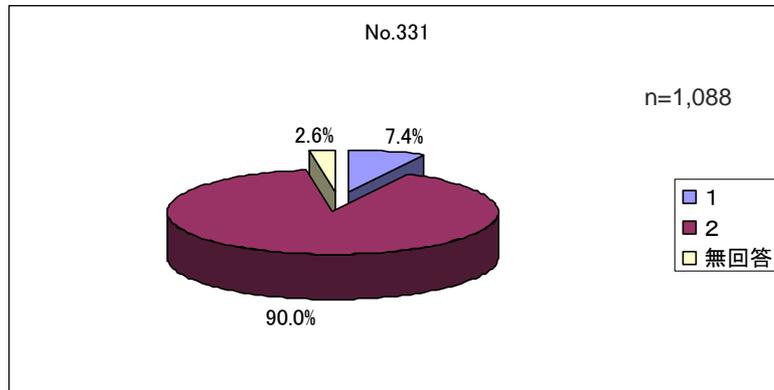
18. その他の具体的な主な回答

- <小学校> ・時間の確保が難しい。
・大規模校のため、体験活動を実施する人材や施設、教職員の対応が難しい。
- <中学校> ・必要性を感じているが、指導計画の作成にはいたっていない。
・講演以外に実施できるほどキャリア教育に時間をとることができない。

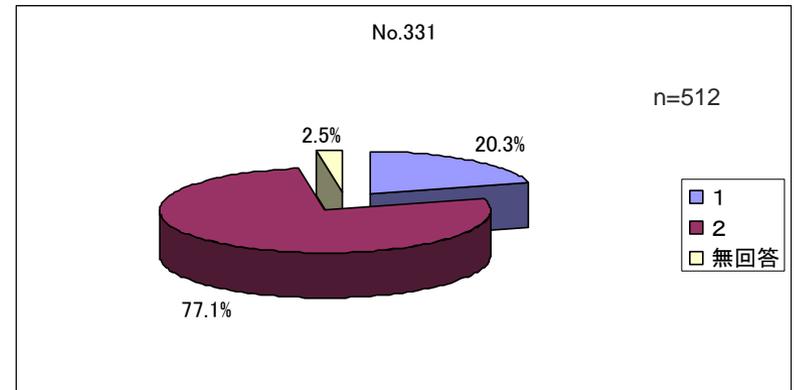
No.331

学校外部の教育資源を、進路・適性に関する個人面談・個別指導等に活用したことがありますか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

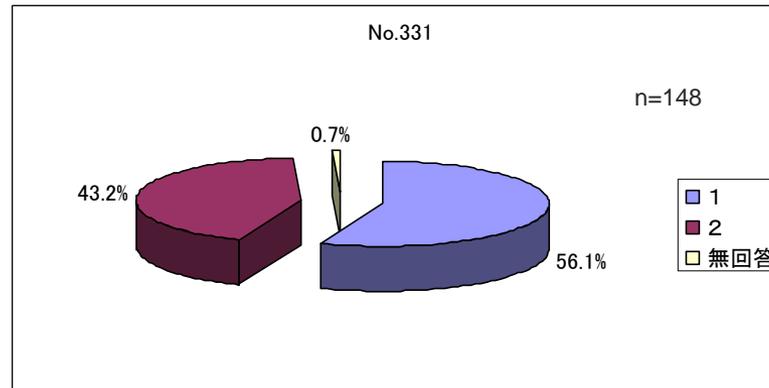
1. 活用している(平成22年度内に一度でも活用したことがある場合を含む)。
2. 活用していない。



小学校



中学校

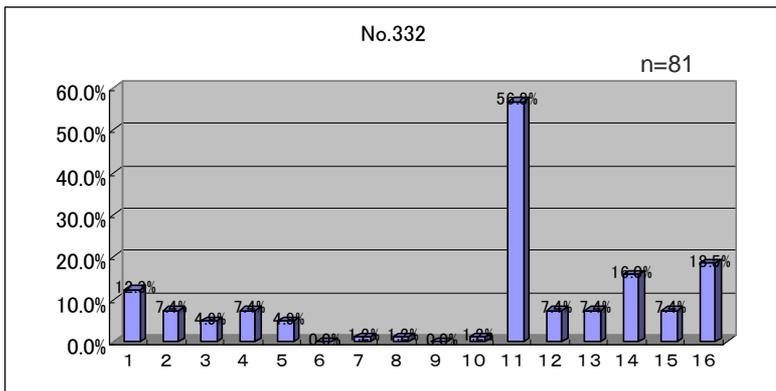


高等学校

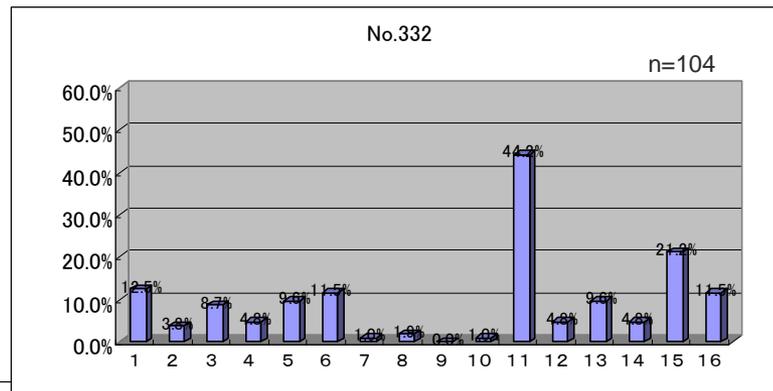
No.332

No.331において1を選んだ場合、どのような人材を活用していますか(していましたか)。次のうちから当てはまるものをすべて選んで下さい。(※1)

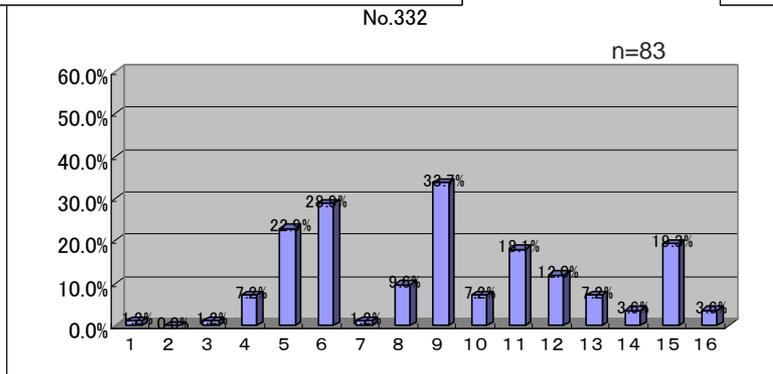
1. 児童生徒の保護者
2. 商店会、青年会議所等の職員
3. 商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
4. NPO法人、任意団体等の人材
5. 産業界(企業等)の人材
6. ハローワークの職員
7. 地域若者サポートステーションの職員
8. ジョブカフェの職員
9. 就職支援員(※2)・就職補助員
10. キャリア・コンサルタント(※3)
11. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
12. 学識経験者(大学教授や准教授等)
13. 医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
14. 教育委員会の職員
15. 上級学校の生徒、学生
16. その他



小学校



中学校



高等学校

(※1) 活用している人材が、上記選択肢の中の複数の立場にある場合、その人材をどの立場で活用したかという視点で、1つだけ選んで下さい。

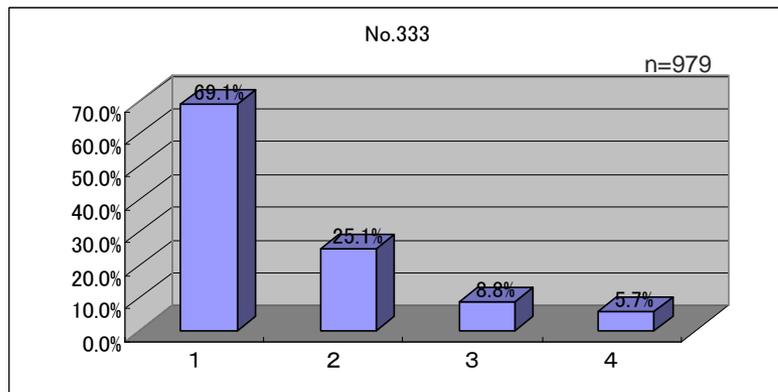
(※2) 上記設問における就職支援員には、ジョブサポートティーチャーは含まれません。

(※3) 上記設問における「キャリア・コンサルタント」とは、厚生労働省の認可を受けて養成講座と認定試験を行っている団体が付与する「キャリア・コンサルタント」資格を持つ人材のことを指します。

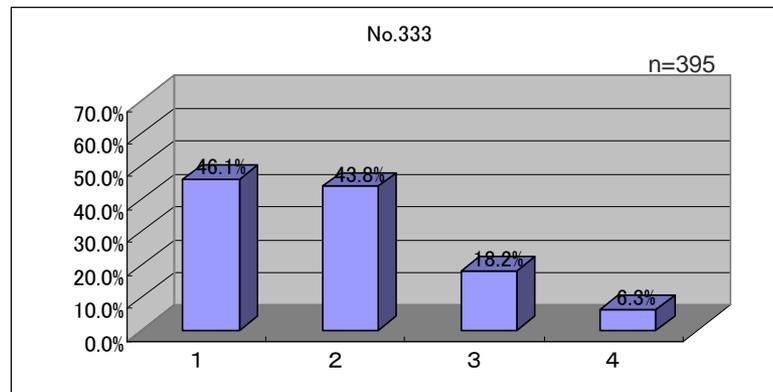
No.333

No.331において2を選んだ場合、活用していない理由について、次のうちから当てはまるものをすべて選んで下さい。

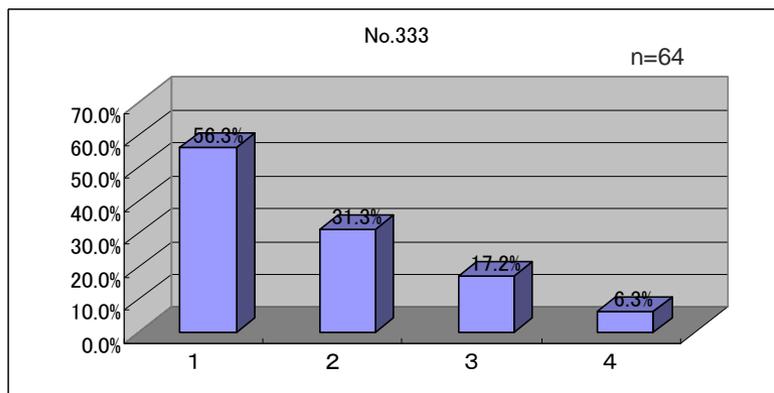
1. その必要性を感じない
2. 活用したいが、適当な人材が見つからない
3. 活用したいが、予算措置できない
4. その他



小学校

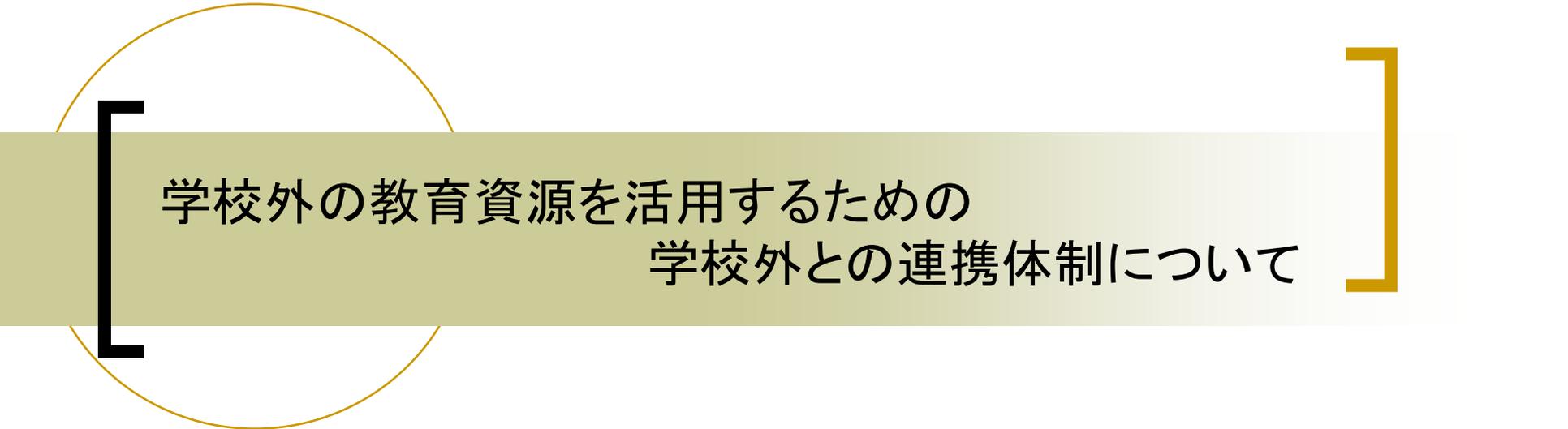


中学校



高等学校

4. その他の具体的な主な回答
- <中学校> ・時間の確保が難しい。
・生徒が個人面談するまでに、中学校段階では職業を絞ることができない。
 - <高等学校> ・地域企業との関係が良好で、離職者が少ない、ミスマッチが少ないなど決め細やかな進路指導が行われているから。
・活動の中で、双方(生徒と外部支援者)の時間的都合が合わせにくい。
・生徒に紹介したが、希望者がいなかった。

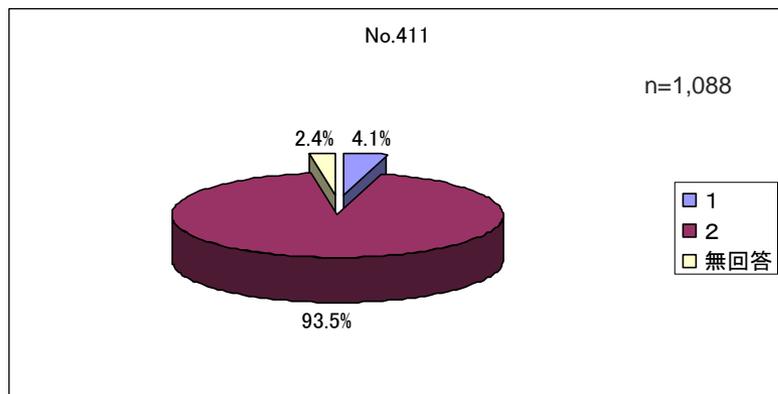


学校外の教育資源を活用するための
学校外との連携体制について

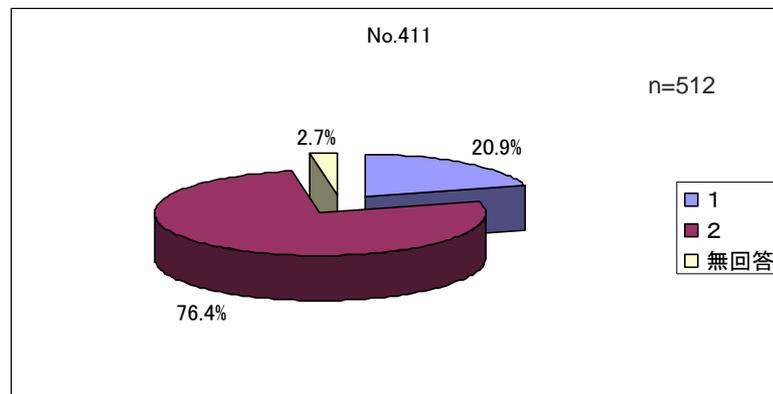
No.411

キャリア教育(特に職場体験活動やインターンシップ等の体験的な活動)を円滑に進めるために、協議会を組織する等、学校外の諸機関と連携した組織を設置していますか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

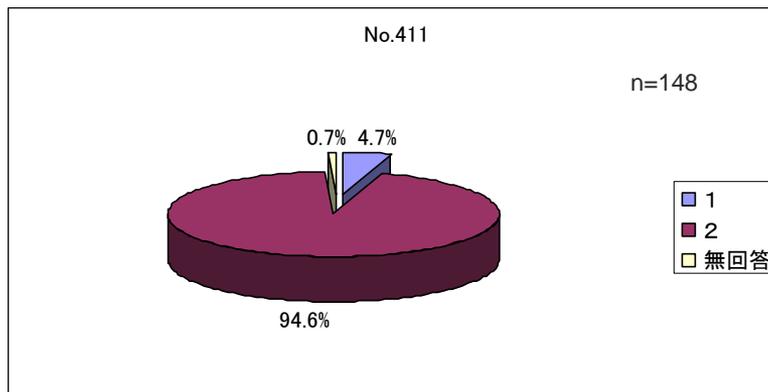
1. 設置している(平成21年度以前に設置し現存している場合も含む)
2. 設置していない



小学校



中学校

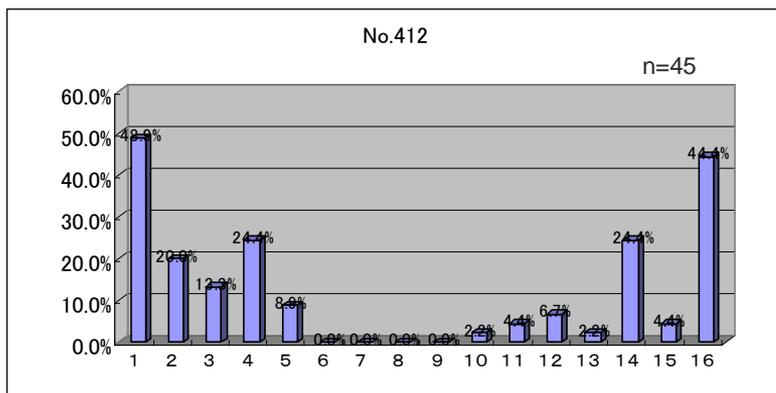


高等学校

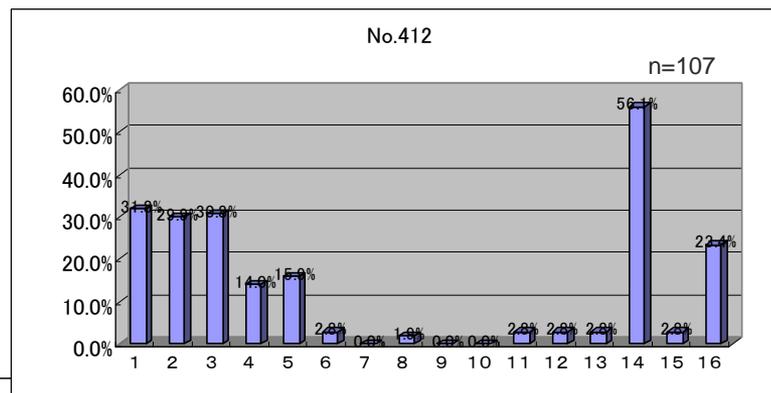
No.412 ①

No.411において1を選んだ場合、その構成員について該当するものをすべて選んで下さい。
(※1)

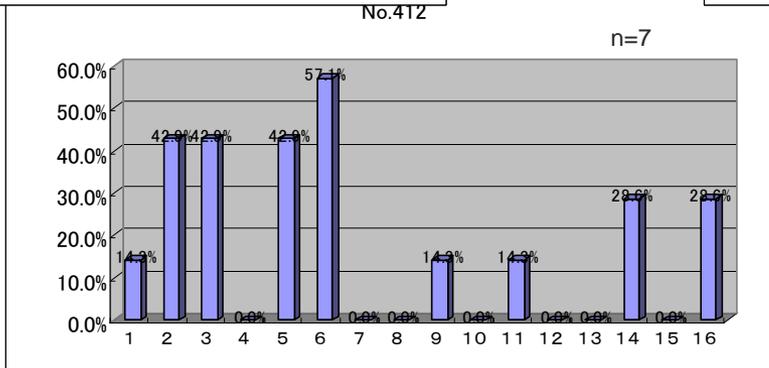
1. 児童生徒の保護者
2. 商店会、青年会議所等の職員
3. 商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
4. NPO法人、任意団体等の人材
5. 産業界(企業等)の人材
6. ハローワークの職員
7. 地域若者サポートステーションの職員
8. ジョブカフェの職員
9. 就職支援員(※2)・就職補助員
10. キャリア・コンサルタント(※3)
11. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
12. 学識経験者(大学教授や准教授等)
13. 医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
14. 教育委員会の職員
15. 上級学校の生徒、学生
16. その他



小学校



中学校



高等学校

(※1) 活用している人材が、上記選択肢の中の複数の立場にある場合、その人材をどの立場で活用したかという視点で、1つだけ選んで下さい。

(※2) 上記設問における就職支援員には、ジョブサポートティーチャーは含まれません。

(※3) 上記設問における「キャリア・コンサルタント」とは、厚生労働省の認可を受けて養成講座と認定試験を行っている団体が付与する「キャリア・コンサルタント」資格を持つ人材のことを指します。

No.412 ②

No.411において1を選んだ場合、その構成員について該当するものをすべて選んで下さい。
(※1)

1. 児童生徒の保護者
2. 商店会、青年会議所等の職員
3. 商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
4. NPO法人、任意団体等の人材
5. 産業界(企業等)の人材
6. ハローワークの職員
7. 地域若者サポートステーションの職員
8. ジョブカフェの職員
9. 就職支援員(※2)・就職補助員
10. キャリア・コンサルタント(※3)
11. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
12. 学識経験者(大学教授や准教授等)
13. 医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
14. 教育委員会の職員
15. 上級学校の生徒、学生
16. その他

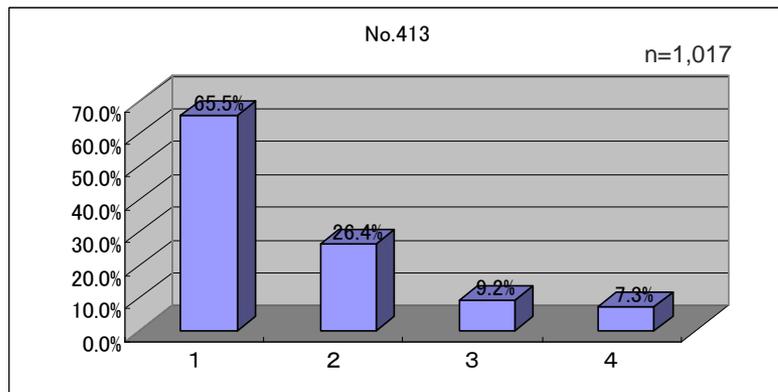
16. その他の具体的な主な回答

- <小学校> ・学校支援地域本部事業の職員
・学校評議委員
- <中学校> ・学校支援地域本部の職員
・市社会福祉協議会主任児童委員
・民生委員
・学校評議委員

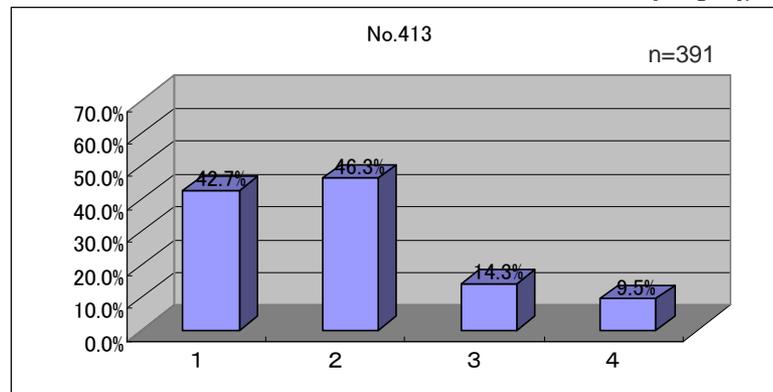
No.413

No.411において2を選んだ場合、設置しない理由について、次のうちから当てはまるものをすべて選んで下さい。

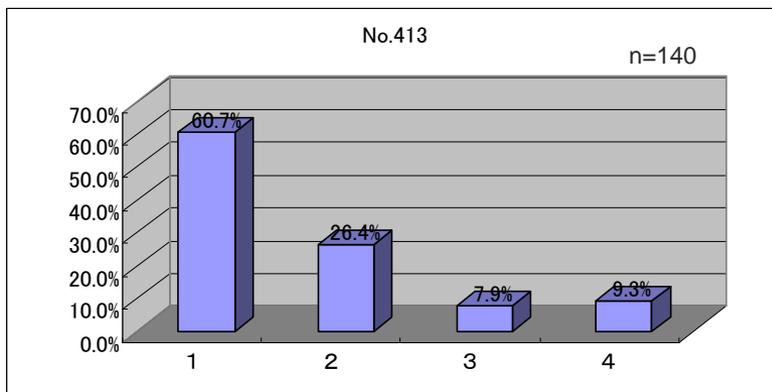
1. その必要性を感じない
2. 設置したいが、適当な構成員が見つからない
3. 設置したいが、予算措置できない
4. その他



小学校



中学校



高等学校

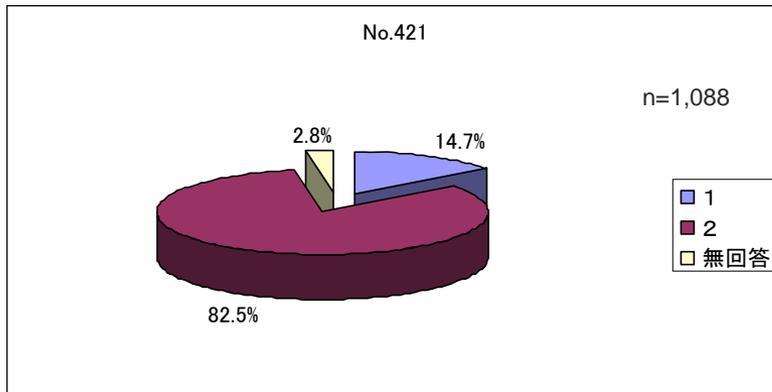
4. その他の具体的な主な回答

- <中学校>
- ・設置した方がよいのかもしれないが、時間と予算がない。
 - ・行政との連携がないと学校独自で協議会等を設置することは困難
 - ・どの様に協議会を持つべきかの知識が不足している。
 - ・メリットも大きいと思うが、設置によって忙殺される時間もまた膨大。
- <高等学校>
- ・設置したいが、校内にその機運がまだ高まっておらず、時期尚早。

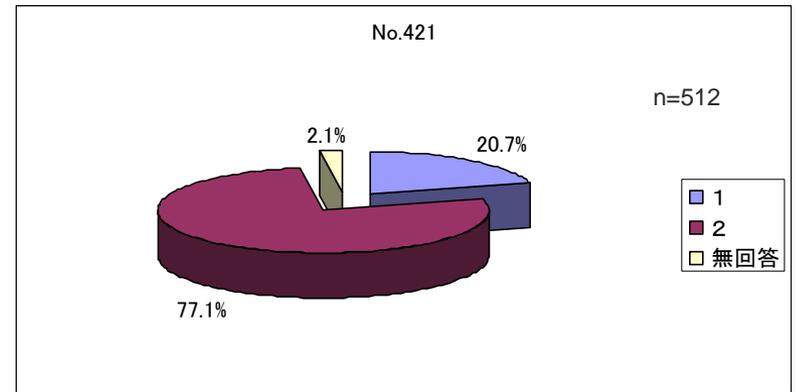
No.421

キャリア教育を推進するにあたり、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)する組織・人材を活用していますか。次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

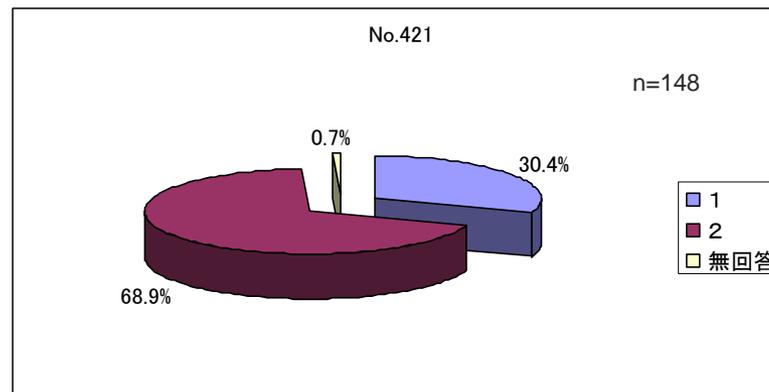
1. 設置している(平成21年度以前に設置し現存している場合も含む)
2. 設置していない



小学校



中学校

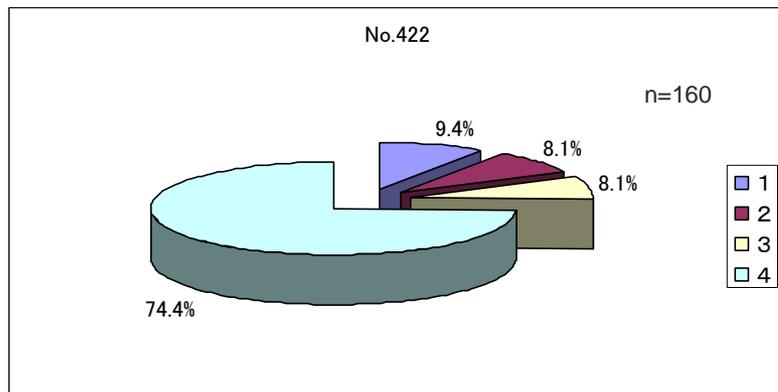


高等学校

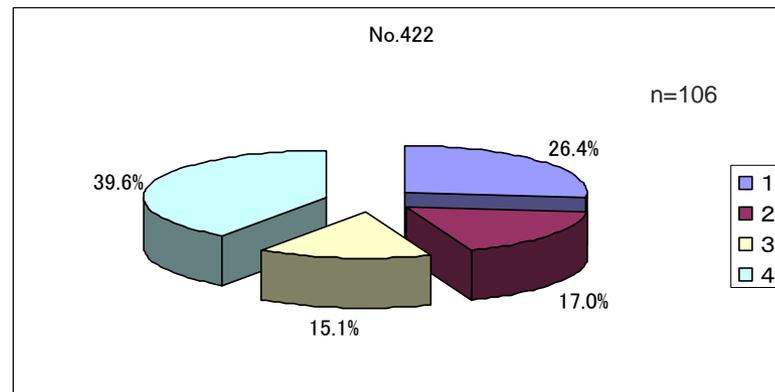
No.422

No.421において1を選んだ場合、No.411で既出の「協議会」との関係や、その構成員の働きについて、次のうちから当てはまるものを1つ選んで下さい。

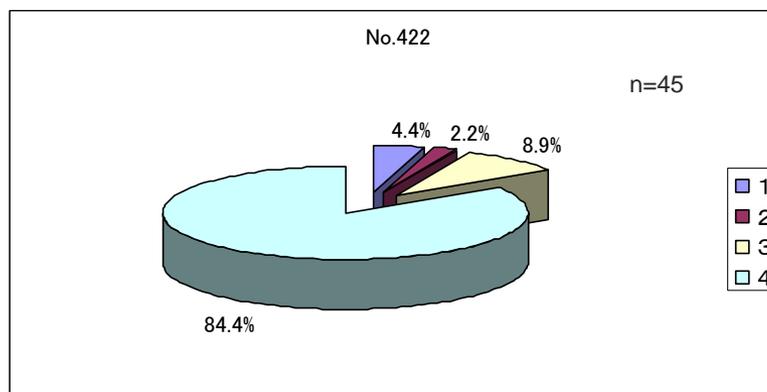
1. 協議会自体が、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)している。
2. 協議会の一部のメンバーが、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)している。
3. 協議会とは別に、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)する組織・人材を活用している。
4. 協議会は設置していないが、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)する組織・人材を活用している。



小学校



中学校

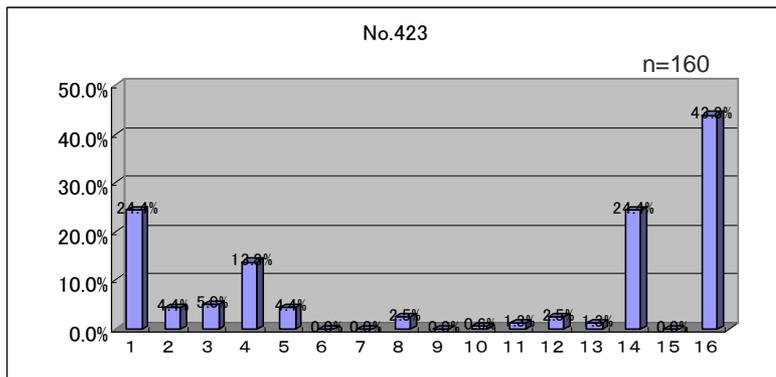


高等学校

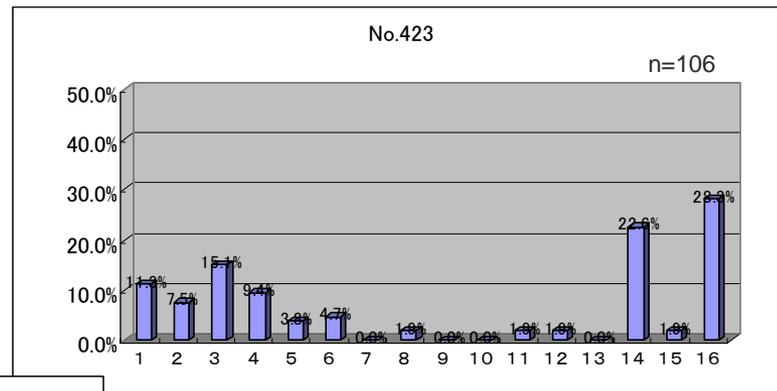
No.423 ①

No.422において2～4を選んだ場合、学校と学校外部の教育資源とのコーディネート(仲介・調整)を主に担っているのはどのような人材ですか。該当するものをすべて選んで下さい。(※1)

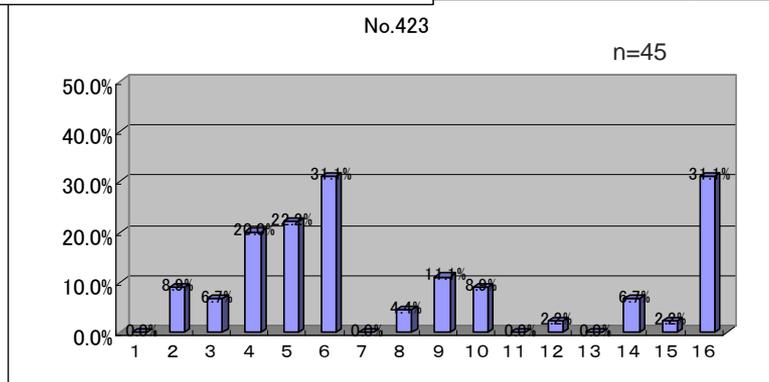
1. 児童生徒の保護者
2. 商店会、青年会議所等の職員
3. 商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
4. NPO法人、任意団体等の人材
5. 産業界(企業等)の人材
6. ハローワークの職員
7. 地域若者サポートステーションの職員
8. ジョブカフェの職員
9. 就職支援員(※2)・就職補助員
10. キャリア・コンサルタント(※3)
11. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
12. 学識経験者(大学教授や准教授等)
13. 医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
14. 教育委員会の職員
15. 上級学校の生徒、学生
16. その他



小学校



中学校



高等学校

(※1) 活用している人材が、上記選択肢の中の複数の立場にある場合、その人材をどの立場で活用したかという視点で、1つだけ選んで下さい。

(※2) 上記設問における就職支援員には、ジョブサポートティーチャーは含まれません。

(※3) 上記設問における「キャリア・コンサルタント」とは、厚生労働省の認可を受けて養成講座と認定試験を行っている団体が付与する「キャリア・コンサルタント」資格を持つ人材のことを指します。

No.423 ②

No.422において2～4を選んだ場合、学校と学校外部の教育資源とのコーディネート(仲介・調整)を主に担っているのはどのような人材ですか。該当するものをすべて選んで下さい。(※1)

1. 児童生徒の保護者
2. 商店会、青年会議所等の職員
3. 商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
4. NPO法人、任意団体等の人材
5. 産業界(企業等)の人材
6. ハローワークの職員
7. 地域若者サポートステーションの職員
8. ジョブカフェの職員
9. 就職支援員(※2)・就職補助員
10. キャリア・コンサルタント(※3)
11. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
12. 学識経験者(大学教授や准教授等)
13. 医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
14. 教育委員会の職員
15. 上級学校の生徒、学生
16. その他

16. その他の具体的な主な回答

<小学校> ・学校支援地域本部事業の職員

・地域教育コーディネーター

<中学校> ・学校支援地域本部の職員

・地域住民によるボランティア

<高等学校> ・キャリアアドバイザー(県からの派遣)

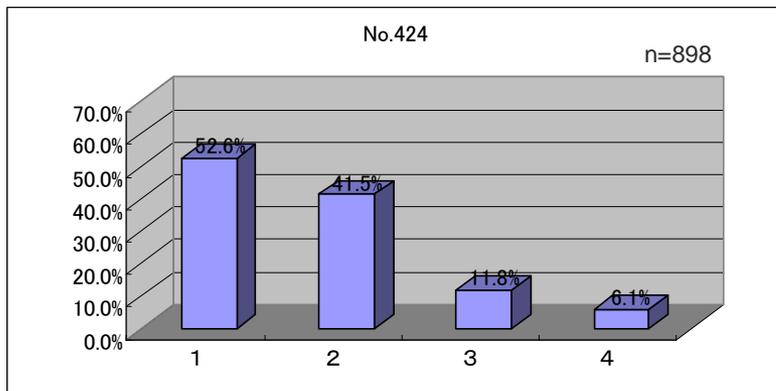
・進路情報提供会社

・本校同窓会役員

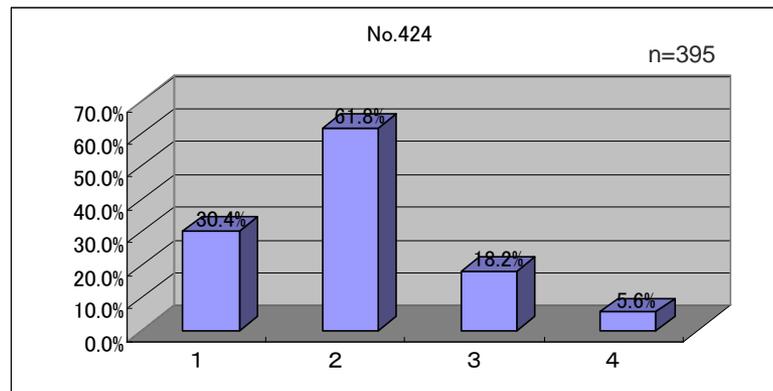
No.424

No.421において2を選んだ場合、活用していない理由について、次のうちから当てはまるものをすべて選んで下さい。

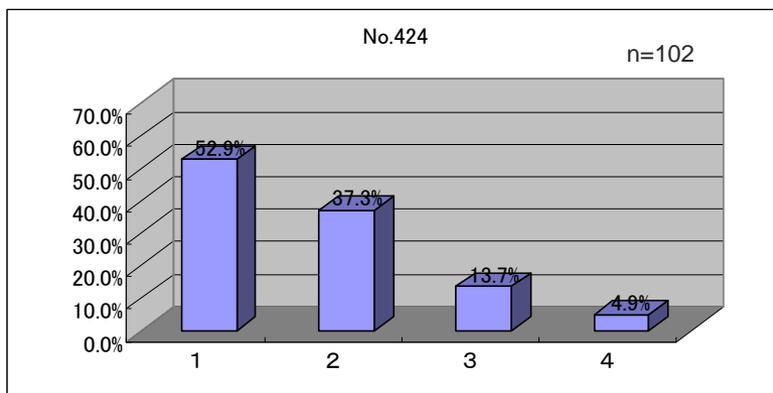
1. その必要性を感じない
2. 活用したいが、適当な組織・人材が見つからない
3. 活用したいが、予算措置できない
4. その他



小学校



中学校



高等学校

4. その他の具体的な主な回答

- <中学校>
- ・キャリア教育の内容が外部の方を得るまでの内容になっていない。
 - ・そのような取組を検討することの考えがなかった。
 - ・知識やノウハウが不足している。
 - ・コーディネーターの存在を知らない。
 - ・地域にコーディネートする人や組織がない。
 - ・かえって煩雑となる。